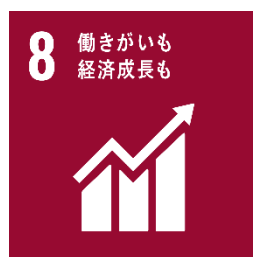


View 2023

SDGs未来都市



—大田区産業経済部事業概要—



SDGs未来都市・大田区では、主に上記の目標を中心に区内産業振興に取り組みます

令和5年7月

大田区産業経済部

公益財団法人 大田区産業振興協会

一般社団法人 大田観光協会

目 次

産業経済部ホームページ一覧	1
事業種別索引	2
第1 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図	8
第2 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の事務分掌	10
第3 産業経済部の目標	13
第4 庁議指定事務事業及び部局重要事務事業	15
第5 産業経済部の事務事業	16
1 産業振興課	16
（1）産業振興担当（管理）	16
（2）産業振興担当（調整）	18
（3）産業振興担当（工業）	22
（4）産業振興担当（商業）	32
（5）産業振興担当（観光）	40
（6）産業振興担当（イノベーション）	49
（7）融資係	51
第6 公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業	53
1 総務部	53
（1）総務人事セクション	53
（2）財務経理セクション	53
2 地域産業活性化部	53
（1）情報化・Pi0 フロントセクション	53
① 情報化推進	53
② Pi0 フロント	53
（2）勤労・人財セクション	55
① 勤労者支援	55
② 人財育成・確保	56
（3）MICE 推進・施設セクション	57
① コワーキング	57
② MICE 推進	58
3 商いサービス部	59
（1）プロモーションセクション	59
（2）商いサービスセクション	61

4	経営支援部	63
	(1) ものづくり取引セクション	63
	(2) イノベーションセクション	66
5	羽田 Pi0 推進部	69
	(1) 羽田 Pi0 セクション	69
第7	一般社団法人大田観光協会の事務事業	73
第8	参考資料	78
	産業経済部予算	78
	公益財団法人大田区産業振興協会予算	79
	一般社団法人大田観光協会予算	80
	事業開始年度一覧	81
	産業プラザ施設概要	91

産業経済部ホームページ一覧

【産業経済部】 大田区ホームページ>産業振興

<https://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/index.html>



【(公財) 大田区産業振興協会】 <https://www.pio-ota.jp>



【PiO PARK ピオパーク】 <https://piopark.net/>



【(一社)大田観光協会】 <https://www.o-2.jp/>



【大田区 MICE 専用サイト】 <https://ota-mice-guide.jp/>



事業種別索引

商店街・商い・サービス業

概要	事業名	頁
商店街の装飾灯整備及び維持管理費の助成を受けたい	商店街装飾灯整備助成	32
区内商業活性化のため、大田区商店街連合会及び各商店会等との連携を強化したい	区内商店街連携強化推進事業	33
商店街の法人化の支援、運営経費の助成をしてほしい	商店街振興組合等推進事業	34
商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベント等に対して助成してほしい	商店街チャレンジ戦略支援事業	34
商店街が行う地域商業活性化のための事業経費を助成してほしい	商店街活性化推進事業(商店街戦略的PR事業、商店街ステップアップ応援事業、組織力強化支援事業等)	35
自分のお店に多くのお客様に足を運んでもらいたい eコマース等、新しい販売に挑戦したい	アキナイ・クロス事業	61
商品やサービスの改善や商談の機会を増やしたい 商業の専門相談員に相談したい	商い・サービス産業取引相談	62
店舗デザインやディスプレイ改善のためのコンサルタント費用・改修費用の補助を受けたい	繁盛店創出事業	63

農業

概要	事業名	頁
区内農業者による農作物の品評会と即売会の開催	野菜と花の品評会	36
区民農園を利用したい	区民農園	37
区内農業者と行政の情報連絡の機会がほしい	農漁業関連事業	37

公衆浴場（銭湯）

概要	事業名	頁
公衆浴場の施設改善工事や備品購入等の経費を助成してほしい	公衆浴場施設改善助成	37
東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部への助成	公衆浴場事業助成	38
公衆浴場のあり方を検討するための協議の機会	公衆浴場対策研究会	38

その他の業種

概要	事業名	頁
一般家庭の改築、修繕ができる区内の業者を紹介してほしい	建築工事あっせん相談事業	16
災害等緊急事態時における事業継続に備えたい	経営革新支援事業 (1) 企業防災普及啓発事業	17

概 要	事業名	頁
大型店舗の立地に関する届出	大型店対策	36
東京都が実施する計量器定期検査の事前調査	計量器定期検査の事前調査	39
内職求人を頼みたい、内職をしたい	内職あっせん・相談事業	66

ものづくり拠点の形成

概 要	事業名	頁
貸工場および工業用地の物件情報を知りたい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (1)貸工場・工業用地マッチング事業	22
工場の新增設、区内の移転にかかる経費を助成してほしい 新しい集合型工場を建設したい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (2)ものづくり工場立地助成、工場 アパート立地助成	22
防音、防臭、防振等の操業環境改善のための工場の改修、移 転にかかる経費を助成してほしい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (3)ものづくり企業立地継続補助金	23
ファブレス企業等の新增設、区内の移転にかかる経費を助成 してほしい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (4)研究開発企業等拠点整備助成事 業	24
区内の企業立地促進を図るための区内外企業、空き工場・工 業用地への調査等	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (5)企業立地促進サポート業務	24
マンション建設時に、周辺工場との調整について知りたい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (8)工業地域・準工業地域における 集団住宅等建設事業に係る調整	26
工場アパートを使用したい、社宅を探している	産業支援施設指定管理者管理代 行 (1) 工場アパート等	28

人材育成・確保

概 要	事業名	頁
次世代の人材育成を目的とする各種講習会やセミナーを知り たい	ものづくり人材育成事業 (1)次世代ものづくり人材育 成事業	27
ものづくり体験と小中学校等のものづくりの発表を組み合わ せたイベント	ものづくり人材育成事業 (2)ものづくり教育・学習 フォーラム	27
事業承継について、各種専門家から支援を受けたい	事業継承の取組	31, 39
	ビジネスサポートサービス	54
大田区内企業への就職を考えている 大田区が運営する求人サイトに求人情報を掲載したい	おしごとナビ大田区	56
人材育成を高等専門学校教師や施設を活用して行いたい 自社製品のデザイン性を向上できる人材を育成したい	中小企業次世代ものづくり 人材の育成事業	57
おおた少年少女発明クラブに入りたい (小学生対象)	中小企業次世代ものづくり 人材の育成事業 (おおた少 年少女発明クラブの支援)	57
次世代を担う後継者や若手人材を確保したい	若者と中小企業とのマッ チング事業	57

創業・相談事業・コンサルティング

概要	事業名	頁
創業支援を受けたことの証明書がほしい	特定創業支援等事業（証明）	18
副業・兼業者との連携方法について知りたい	区内産業の課題解決事業 （1）デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業	19
東工大と連携した起業プログラム	地域課題解決型ビジネス支援業務	21
創業、新分野進出に向けて活動拠点を探している	産業支援施設指定管理者管理代行 （2）大田区南六郷創業支援施設	29
区内で創業するにあたり、創業相談、セミナーや試作品製作など専門的な支援を受けたい	創業者支援事業	63, 67, 72
ホームページ・カタログなどPRツール作成の支援を受けたい	中小企業情報化支援	53
企業経営、創業、販路拡大、技術の向上、契約や会計等、ビジネスに関する様々な相談を専門家にしたい	ビジネスサポートサービス	54
創業や経営に関する相談をしたい	Pi0フロント	53

取引拡大

概要	事業名	頁
加工や製品の発注先を見つけたい、仕事を受注したい	受・発注相談	64
自社の加工技術を全国の手・中堅企業にPRし、商談につなげたい	大田区加工技術展示商談会	65
展示会の出展を支援してほしい	国内見本市への出展支援	65
海外取引の相談 海外取引セミナー eコマースの活用をしたい 海外の市場性や投資環境を確認したい 海外企業とのビジネスマッチングを図りたい 企業カタログ、マニュアル等の取引書類を翻訳してほしい タイや中国等、海外の市場開拓に興味がある	海外取引相談事業	70
海外での見本市に出展し市場開拓や技術移転をしたい	海外見本市への出展支援	71
社会的な課題を解決する自社商品・サービスのPRをする展示会に出展したい	Meet New Solution in OTA	65
商品やサービスの改善や商談の機会を増やしたい 商業の専門相談員に相談したい	商い・サービス産業取引相談	62
空港に近い場所で、様々な交流・イベントに参加したい。また、各種設備の利用や、専門のコーディネーターから経営に関する支援を受けたい	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	69

資金調達の支援

概要	事業名	頁
低利の事業資金融資をあっせんしてほしい	中小企業融資あっせん制度	51
マル経融資の利子補給を受けたい	小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利子補給制度	52
新創業融資の利子補給を受けたい	新創業融資資金利子補給制度	52
事業承継・集約・活性化支援資金の利子補給を受けたい	事業承継資金利子補給制度	52

技術・研究開発

概要	事業名	頁
自社で取り組む新製品・新技術の開発にかかる経費を助成してほしい 新製品・新技術評価と、販路拡大を図りたい	新製品・新技術開発支援事業	67
他の区内企業と連携して新事業に取り組みたい 医療・介護福祉・航空宇宙などの成長産業で自社の技術を活かし参入したい 研究に関わる試作品・製品を区内企業に作ってほしい 大手企業等が保有する知的財産を活用した製品開発をしたい	次世代産業創造・産業クラスター形成事業	68

情報提供・ネットワーク

概要	事業名	頁
大田区と他都市の連携について知りたい	医工連携自治体協議会	21
	産業のまちネットワーク推進協議会	22
大田区の産業について知りたい	大田区産業PR事業	17
	大田区産業振興普及事業	59
	産業情報誌の発行	59
	産業情報受発信事業	60
全国・海外から大田区の企業を見学・視察をしたい	大田区産業振興普及事業	59

調査事業

概要	事業名	頁
大田区の産業に関する景気動向が知りたい	産業基礎調査 (1) 区内経済状況調査(景気動向調査)	18

産業プラザの管理運営

概要	事業名	頁
産業プラザの管理業務について知りたい	産業プラザ施設維持の管理運営	58
展示ホールや会議室等の利用について知りたい	産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	58

表彰事業

概要	事業名	頁
永年にわたり区内中小企業に勤務した従業員の功績をたたえ、その労をねぎらうことにより、勤労意欲を増進させ、優秀な従業員の育成を図りたい	中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	16
人に優しい（働きがいのある労働環境）、まちにやさしい（周辺環境との調和）、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰し、町工場の良さを多くの方に知ってもらいたい	工場表彰制度（優工場）	60
「これぞ大田のお土産！」と言える製品・商品を100点選定・表彰し、多くの方に大田区に来てもらい、お土産にしてもらいたい	大田のお土産100選 表彰事業	61
区内の特色のある商店や飲食店を表彰し、多くの方に大田区に来てもらい、自慢の味や雰囲気などを味わってもらいたい	商店（飲食店）表彰制度（OTA!いちおしグルメ）	61

勤労者福祉

概要	事業名	頁
自社の福利厚生制度を充実したい 中小企業の勤労者として福利厚生事業を利用したい	勤労者支援 （加入促進事業、福利厚生事業、給付事業）	55

観光振興事業

概要	事業名	頁
国内外からの来訪者を受け入れる店舗・施設及び観光マップやパンフレットの配布、近隣の簡単な案内等にご協力いただける店舗・施設等を登録しています。	大田区ウェルカムスポットへの支援	40
外国人旅行者や区民など、誰もが安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただけるよう観光案内サインを整備します。	観光案内サイン推進事業	40
区の観光紹介用パンフレットを作成し区内の魅力を発信します。	大田区観光紹介用パンフレット	41
（一社）大田観光協会の事業を支援し、民間視点での観光振興を行います。	一般社団法人 大田観光協会補助事業	41
川崎市・品川区・神奈川県等をはじめとした多様な自治体や民間企業と連携し、共同で情報発信を行います。	広域連携事業	42
大田区の得意とする中小規模の多様な会議に対応したMICEを中心に誘致を行います。	MICE推進事業	43
区にゆかりがあり、各界で活躍・活動している個人及び団体等に「大田区観光PR特使」を委嘱し、観光振興を図ります。	大田区観光PR特使事業	44
大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、区への誘客及び回遊・消費向上につなげる地域PR事業を実施します。	地域と協働した観光魅力発信事業 （大田・品川連携はR3年度より分離）	44

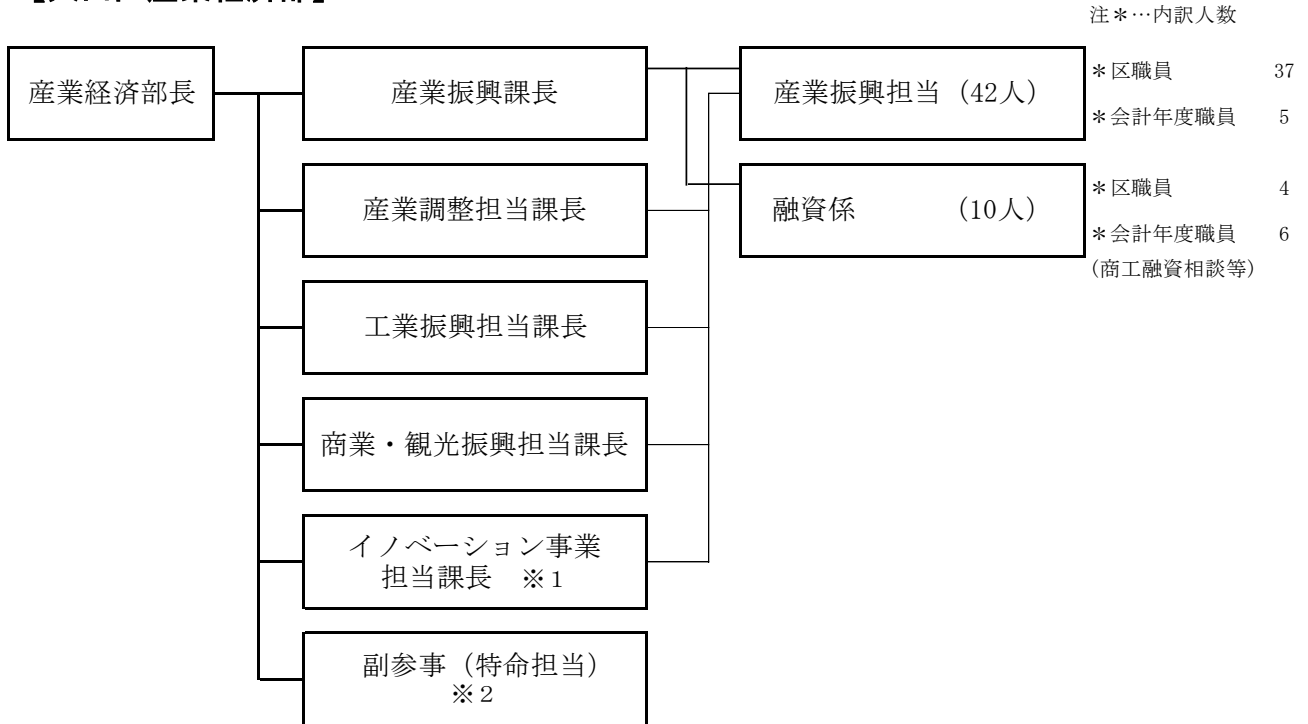
概 要	事業名	頁
観光展示やノベルティの配布を通して、内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。	観光PRのための展示及びPRツール等の制作	45
羽田空港主体の「空の日」イベントへ参画し、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールします。	「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業	45
大田区の魅力発信、シティプロモーションの推進及び区民のわがまちへの愛着心の向上を図ります。	大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用	46
「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。	大田区観光情報センターの運営	46
羽田空港国際線到着ロビーの東京観光情報センター内にてパンフレットの配架や産業関連の展示を行っています。	羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	47
区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興に関する、情報交換等や施策の検討を行います。	大田区観光推進協議会の運営	48
大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行います。	大田区における撮影支援・協力	48
区及び（公財）大田区産業振興協会等と共催し、アキナイ・クロス事業を企画・運営します。	アキナイ・クロス事業との連携	73
臨海部・多摩川を活用したカヌー事業やイベントにより、水辺を観光資源とした事業を推進します。	水辺の賑わい事業	73
「モノづくりのまちづくり」を推進する発信・交流拠点として、公・民・学が共同した体験イベントや地域イベントを行います。	くりらぼ多摩川運営事業	74
一般の方とモノづくり職人の交流の機会を提供し、地域のモノづくりマインドの醸成や、区内外の来訪者誘致につなげます。	おおたオープンファクトリー	74
観光まちづくりを担う人材の育成と回遊性向上に向けたイベントの実施により、大田の魅力PRと商業振興を同時に推進し地域の更なる活性化を図ります。	区内の回遊性向上促進事業	74
HPやSNSを活用し、区の認知度向上や来訪意欲醸成を目的とした情報発信を行います。	大田観光協会ホームページ管理運営	75
講座やクイズを通し、区の歴史や文化など幅広い分野を学び、まちの魅力を再確認することで大田区ファンを増やします。	おおたプライド事業「大田区学」	76
区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌・観光マップを作成します。	観光パンフレット等の発行	76
産業プラザ2F「観光・産業情報コーナー」を運営し、観光・産業情報の案内や書籍、パンフレットの配架を行います。	大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運営業務	77
両区が共有する観光資源等を活用した地域PR事業を実施し、近隣諸都市から区への誘客やにぎわいの創出を図ります。	品川区・大田区広域連携事業	77

新産業創造・発信拠点の形成

概 要	事業名	頁
羽田イノベーションシティについて知りたい	羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進	49
HANEDA×Pi0、Pi0 PARKについて知りたい	羽田空港跡地における産業交流拠点の形成	50

第1 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図

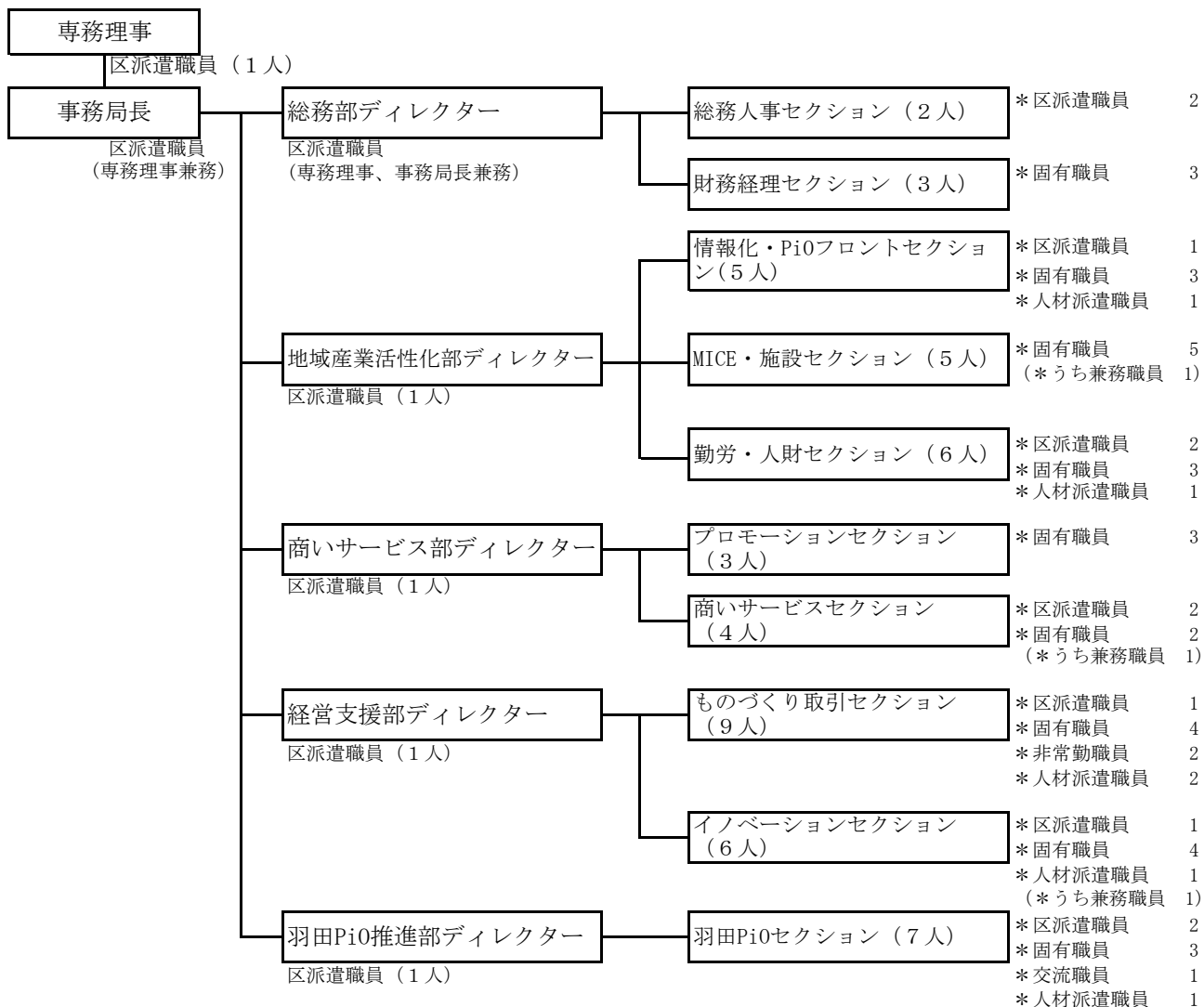
【大田区産業経済部】



部 59人
 職員 48人
 会計年度職員 11人

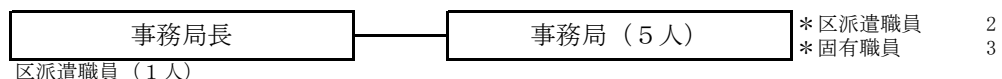
※1 イノベーション事業担当課長：空港まちづくり本部副参事（産業調整担当）兼務
 ※2 副参事（特命担当）：生活衛生課長兼務

【公益財団法人大田区産業振興協会】



産業振興協会 52人
 区派遣職員 16人
 固有職員 27人
 非常勤職員 2人
 交流職員 1人
 人材派遣職員 6人

【一般社団法人大田観光協会】



大田観光協会 6人
 区派遣職員 3人
 固有職員 3人

第2 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人 大田観光協会の事務分掌

1 産業経済部

◆産業振興課

《産業振興担当》

- (1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
- (2) 部の事務事業の改善に関すること。
- (3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
- (4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
- (5) 議会に関する他部との連絡調整に関すること。
- (6) 部の庶務に関すること。
- (7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
- (8) 他部との連絡調整に関すること（他係に属するものを除く。）。
- (9) 危機管理に関すること。
- (10) 議会に関する部の総括に関すること。
- (11) 産業振興施策に関すること。
- (12) 観光振興施策に関すること。
- (13) 産業関係団体との連絡調整に関すること。
- (14) 観光関係団体との連絡調整に関すること。
- (15) 産業振興に係る調整に関すること。
- (16) 産業活性化の連携に関すること。
- (17) 公益財団法人大田区産業振興協会に関すること。
- (18) 産業プラザの施設管理に関すること。
- (19) 建築工事あつせん相談事業に関すること。
- (20) 大型店対策に関すること。
- (21) 公衆浴場関連施策に関すること。
- (22) 産業支援施設の管理運営に関すること。
- (23) 産業交流施設等に関すること。
- (24) 空港跡地利用（羽田空港跡地第1ゾーン整備事業第一期事業に限る。）に関すること。
- (25) 課内他係に属しないこと。

《融資係》

- (1) 中小企業等の金融（中小企業融資基金を含む。）に関すること。
- (2) 融資相談に関すること。

2 公益財団法人大田区産業振興協会

◆総務部

《総務人事セクション》

- (1) 協会の経営計画に関すること
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること
- (3) 理事会及び評議員会に関すること
- (4) 公印等の管守に関すること
- (5) 職員の任免、服務、給与、研修及び福利厚生に関すること
- (6) 区関係機関、その他関係団体等との連絡調整に関すること
- (7) その他、他部門及びセクションに属さないこと

《財務経理セクション》

- (1) 理事会及び評議員会に関すること
- (2) 基本財産及びその他財産の管理に関すること
- (3) 金銭及び物品の出納保管に関すること
- (4) 収支予算及び収支決算、その他経理に関すること
- (5) 契約に関すること

◆地域産業活性化部

《情報化・Pi0フロントセクション》

- (1) 内部情報管理に関すること
- (2) 協会のITインフラの調達等に関すること
- (3) 中小企業情報化支援に関すること
- (4) ビジネスサポートサービスに関すること
- (5) Pi0フロント運営に関すること
- (6) OTAデジタル×Pi0に関すること

《MICE・施設セクション》

- (1) MICE推進に関すること
- (2) 大田区産業プラザ施設の管理代行(指定管理者)に関すること
- (3) 利用者開拓に関すること
- (4) 産業プラザの建物管理に関すること

《勤労・人財セクション》

- (1) 勤労者共済事業の運営及び会員の管理に関すること
- (2) 勤労者支援事業の計画、企画、立案に関すること
- (3) 福利厚生・給付事業に関すること
- (4) 人材の確保支援に関すること
- (5) 若者と中小企業とのマッチング事業に関すること
- (6) おしごとナビに関すること

◆商いサービス部

《プロモーションセクション》

- (1) 産業情報の収集・受発信に関すること
- (2) 視察対応に関すること
- (3) 工場表彰制度に関すること
- (4) 総合事業案内、工業ガイドの作成に関すること

《商いサービスセクション》

- (1) 繁盛店創出に関すること
- (2) プロジェクト創出に関すること
- (3) 商業・サービス産業のPRに関すること

◆経営支援部

《ものづくり取引セクション》

- (1) 受・発注相談事業に関する事
- (2) 国内見本市への出展支援に関する事
- (3) 大田区加工技術展示商談会に関する事
- (4) Meet New Solution in OTAに関する事
- (5) 創業者支援事業（創業相談）に関する事

《イノベーションセクション》

- (1) 新製品・新技術の開発支援に関する事
- (2) 次世代産業創造・産業クラスター形成に関する事

◆羽田Pi0推進部

《羽田Pi0セクション》

- (1) ピオパークの運営及び事業に関する事
- (2) 海外取引相談及び海外見本市への出展支援に関する事
- (3) 創業者支援事業（ワークショップ、ベンチャーピッチ）に関する事

3 一般社団法人大田観光協会

- (1) 観光に関する事業
- (2) まちの魅力を演出する事業
- (3) 観光資源の調査研究、情報の収集・提供及び振興に係る事業
- (4) 産業振興に関する事業
- (5) 国際文化交流の推進
- (6) まちの特性を活かした新しい観光資源の開発・創出
- (7) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

第3 産業経済部の目標

令和4年2月から続くロシアとウクライナとの紛争はいまだ終息が見えず、世界的な金融引き締めや、エネルギー・原材料の高騰等とも相まって、世界経済は予断を許さない状況です。

一方で、新型コロナウイルス感染症は本年5月8日から「5類感染症」へと移行し、季節性インフルエンザと同様の扱いとなりました。行動制限が原則としてなくなり、羽田空港では国内外からの利用客の増加が見込まれるとともに、娯楽や宿泊などの需要回復も期待されています。

本年度の産業経済部の大きな動きとしては、令和2年7月にまち開きをした羽田イノベーションシティのグランドオープンがあります。11月16日には盛大なセレモニーが実施される予定となっており、それを契機に企業間交流や区内資源との連携をさらに促進するなど、ソフト面の取組を充実させていきます。

また、3年連続でプレミアム付きデジタル商品券を発行することで、感染症や物価高騰の影響が残る区民生活を支援するとともに、区内キャッシュレス決済の定着・促進を図っていきます。

さらに、中長期的な視点に基づく大田区産業の方向性を示す「大田区産業振興ビジョン」を策定するとともに、社会的な要請の強いSDGsに対しても、全庁的な取組の一環として産業分野も推進していきます。(①中小企業融資あっせん制度、②繁盛店創出事業、③ものづくり工場立地助成の拡充)

このような施策をより効果的に実現していくために、本年4月には産業経済部の組織を再編しました。空港まちづくり課の一部を編入し、イノベーション事業推進担当とすることで、羽田空港を中心とした取組を加速させます。また、商業・観光振興担当課長を配置することにより、商業と観光のより一体的な取組につなげていきます。

区の方針を実行していく（公財）大田区産業振興協会、及び（一社）大田観光協会については、組織力を強化し、相互の連携を深めるとともに、主体的に事業を進めていきます。

コロナ禍の経験を踏まえつつ、不確実性の高い経済状況の変化を的確にとらえて、区内中小事業者、小規模事業者の支援を通じた、地域経済の発展につなげていきます。

<予算編成方針>

○デジタル・脱炭素の取組を引き続き推進し、激動する社会情勢や国の経済安全保障に係る動き、変化を続ける事業環境を的確に捉えた未来志向の取組を強化していく。

○マイクロツーリズムの拡充等、商業観光が地域にもたらす効果をより大きなものとするとともに、多様な主体との「共創」により「選ばれる都市」に相応しい持続可能な区内経済の構築に向けた支援を実行していく。

○羽田イノベーションシティを起点に全国・世界に繋がる産業のまちとして、幅広い産業集積の維持並びにネットワークの構築に係る取組を展開していく。

第4 庁議指定事務事業及び部局重要事務事業

庁議指定事務事業	
1	HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり 【羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進】 【羽田イノベーションシティ「HANEDA×Pi0(区施策活用スペース)」の利用拡大】
2	大田区産業振興ビジョンの策定 【大田区産業振興ビジョンの策定】
部局重要事務事業	
1	工場の立地・操業環境の整備 【ものづくり工場立地助成】、【産業支援施設の運営】、【企業誘致の取組推進】
2	新製品・新技術開発の支援 【助成金交付】、【コンクール表彰】
3	取引拡大の支援 【受発注相談、商談会の実施】、【展示会の開催、出展支援】、【海外展開支援】、 【情報提供などの支援】
4	商いの活性化、魅力の発信 【商店街の機能向上支援】、【商いの魅力発信】、 【大田区の特選品・グルメのPR】
5	創業支援 【創業者支援相談】、【スタートアップ試作支援】
6	ネットワーク形成支援 【デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業】、 【次世代産業創造・産業クラスター形成支援】
7	多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等 【次代を担う人材育成】、【事業承継の取組支援】、【中小企業のデジタル化支援】、 【副業人材を活用した中小企業支援】、【企業向けBCPの普及啓発】
8	経済活動支援策 【中小企業等への支援】
9	シティプロモーションの推進 【メディアなどを活用した情報発信】、【シビックプライド醸成に向けた取組】、 【大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用】
10	来訪者等受入環境整備 【ウェルカムショップ・まちかど観光案内所の統合運用】、 【大田区の観光拠点施設の運営】、 【大田区観光案内サイン整備の推進】、【MICE誘致の取組】
11	観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出 【観光まちづくり団体などへの支援】、 【地域が主体となったにぎわい創出への支援】、 【自治体間広域連携の推進】、 【観光関連事業者・関係団体との連携】

第5 産業経済部の事務事業

- ※ 記載している事業は「主な事業」です。
- ※ 社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
- ※ 記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

1 産業振興課

(1) 産業振興担当（管理）（電話番号：03-5744-1363）

産業経済部の施策・計画の立案、予算及び決算、調査・研究等に関する取りまとめや他部及び関連団体等との連絡調整など、部の庶務担当として円滑な事業運営に向けた対応を行っています。

建築工事あっせん相談事業		その他の業種	
令和5年度予算額	： 646 千円	令和4年度決算額	： 561 千円

【事業概要】

区内の一般家庭等の増改築、修繕工事等に対応できる業者を区民にあっせんすることにより、区民サービスの向上を図ります。

毎月第2・4火曜日午後1時30分～4時30分に本庁舎ロビーで大田区建築あっせん事業連絡協議会（建協）によるリフォーム相談を行っています。また、随時、建協へ電話の取り次ぎによるあっせんを実施しています。

このほか、建協が実施する住宅デー等における建築あっせん事業の広報活動にかかる経費を助成しています。

【対象者】

区内在住者、区内建築関連業者

【令和4年度実績】

- ・あっせん件数 162件（うちリフォーム相談日受付 42件）

中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈		表彰事業	
令和5年度予算額	： 490 千円	令和4年度決算額	： 443 千円

【事業概要】

永年にわたり、区内中小企業に勤務し、大田区の産業の発展に寄与された方の功績をたたえとともに、多年の努力に感謝の意を表すため、感謝状及び記念品を贈呈します。

【対象者】

○従業員

ア 区内同一商店又は事業所に満10年勤務している従業員で、所属商店会長又は所属産業団体の長から推薦を受けた者。

イ 区内同一工場に満15年勤務している従業員で、所属工業団体の長から推薦を受けた者。

○団体役員

産業団体の正副会長を満5年、又は産業団体の連合組織の正副会長（理事長）を満3年務めた者。

【令和4年度実績】

永年勤務従業員感謝状贈呈 186人（商業 22人・工業 125人・その他事業所 39人）
団体役員功労者感謝状贈呈 9人（工業 5人・その他団体 4人）

経営革新支援事業（31頁及び39頁にも事業説明あり）		その他の業種	
令和5年度予算額	： 4,881千円	令和4年度決算額	： 2,595千円

（1）企業防災普及啓発事業			
令和5年度予算額	： 1,386千円	令和4年度決算額	： —

【事業概要】

区内事業者の災害や新興感染症への事前の備えに関する意識向上を図るため、令和3年度に簡易版BCP（事業継続計画）シートを作成しました。

作成したBCPシートは区施設窓口や区内産業団体を通じて配布するほか、区ホームページに掲載し、普及啓発を行っています。各事業所における防災・感染リスク低減に繋がる環境の整備や本格的なBCPの策定など、それぞれの状況に合わせた取組の強化に繋がります。

【令和4年度実績】

簡易版BCPシート

- ・区HPでのダウンロード数 災害編 1,898回、感染症編 1,224回

(2) 産業振興担当（調整）（電話番号：03-6424-8655）

創業支援事業や産業基礎調査に加え、区、区内企業、国、大企業、大学等様々な機関との連携強化により区内産業の活性化を目指します。

産業基礎調査		調査事業	
令和5年度予算額：	24,398千円	令和4年度決算額：	12,658千円

(1) 区内経済状況調査（景気動向調査）			
令和5年度予算額：	5,148千円	令和4年度決算額：	4,958千円

【事業概要】

区内工業、小売業等の景気動向を四半期毎に調査し、調査結果を大田区ホームページに掲載する等して景気動向の情報を提供します。公益財団法人大田区産業振興協会内の「技術連携相談員」、「商い活性化コーディネーター」や金融機関4社のとらえる区内の景況所見も加えて発行します。

- 年4回（6、8、11、2月）発行
- 調査項目：業況・売上・価格・在庫・収益、借入金の動き・重点経営施策・設備投資動向及び特別調査（各調査時期の経済状況・社会状況等に応じて選定）等
- 配布先：関係団体・協力企業へ配布

【対象者】

- 調査先 各回 区内780事業所以上（製造業250、小売業200、建設業180、運輸業150）

【令和4年度実績】

- 景気動向調査 4回（調査票回収率 各回60%以上）
- 特別調査 4回
 - ・事業継続計画(BCP)について
 - ・SDGsについて
 - ・ITを活用した業務効率化・生産性向上について
 - ・仕入先・販売先の変化について

特定創業支援等事業（証明）（予算計上なし）	創業・相談事業・コンサルティング
-----------------------	------------------

【事業概要】

産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画が国から認定されたことに伴い、創業支援総合窓口を設置し、創業者（創業希望者を含む）に対し情報の提供や適切な連絡先を紹介します。また、特定創業等支援事業による支援を受けた創業者に対して、証明書を発行しています。

【対象者】

創業者及び創業希望者

【令和4年度実績】

証明書発行：143件



区内産業の課題解決事業		創業・相談事業・コンサルティング	
令和5年度予算額	： 83,157千円	令和4年度決算額	： 75,692千円

(1) デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業			
令和5年度予算額	： 37,500千円	令和4年度決算額	： 37,455千円

【事業概要】

世界情勢の目まぐるしい変化、脱炭素をはじめとした新たな環境対策、コロナウイルス感染症の拡大等、我が国の経済環境は大きく変化しており、国内最大規模を誇る大田区の製造業や商店街を取り巻くビジネスは厳しさを増しています。

これら環境変化や多様な課題への対応を図ることを目的に、デジタル技術・データ活用、脱炭素をはじめとしたSDGs対応、それら新たな取組をけん引する副業兼業人材と区内企業の連携を推進します。商店街・町工場の課題解決のためのモデル事業を実証し、それをモデル化することで、横展開・サービス構築を推進し、区内企業の稼ぐ力の強化を図ります。

【令和4年度実績】

(1) 副業兼業人材とのエコシステム構築

大田区産業の魅力やモデル事業の意義について効果的なプロモーションを実施することで、意欲的な副業兼業人材を大田区に呼び込むとともに、定期的な情報発信や各種事業、イベント等への参加を通じて、地域産業活性化や地域課題解決のための連携ネットワークを強化し、持続的に意欲的な人材が集まり、地域産業との連携を創出するエコシステムの基礎を構築しました。

(2) 商店街における稼ぐ力の強化プロジェクト

商店街の未活用フラッグ・アーケードボードを民間企業が活用できるよう広告パッケージ化し、商店街が加盟店舗からの組合費や補助金以外で独自に稼ぐ仕組みを構築しました。

また、デジタルツールを活用した売上向上・顧客拡大の支援として、店舗への公式LINEアカウント導入支援を行いました。店舗からの情報発信やクーポン発行による売上拡大という成果に加えて、予約のデジタル化等による業務効率化を推進しました。

(3) 町工場における稼ぐ力の強化プロジェクト

区内製造業が加工・製造以外の部分で自社の強みを生かして稼ぐ仕組みを確立するため、これまで無償提供していた知見やノウハウをコンサルティングサービスとしてマネタイズするビジネスモデルの実証を進めました。

また、新たに中小製造業がイノベーション人材の育成やイノベーション人材との交流を推進するための講座等や「サステナブル経営推進交流会」を開催し、中小製造業における脱炭素対応とそれを契機とした新分野進出の可能性等について普及啓発を行いました。



(2) デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業

令和5年度予算額	： 38,500千円	令和4年度決算額	： 35,597千円
----------	------------	----------	------------

※イノベーション事業担当（旧交流担当）から移管。

【事業概要】

中小製造業と大手企業や研究開発機関等の発注者を繋ぐデジタル受発注の仕組みを構築し、区内製造業のビジネス拡大に向けて、以下の取組を推進します。

- (1) 中小製造業同士のネットワーク「仲間まわし」のデジタル化を推進することで区内及び全国の中小製造業同士の連携を強化するとともに業務の効率化を図ります。
- (2) 人手不足等の理由で営業活動が十分に行えない中小企業等に対し、新規顧客獲得のための機会を提供します。
- (3) 国内外の発注者に対し、試作開発段階からのものづくりの相談・発注をワンストップで提供できる環境を拡大します。

【令和4年度実績】

- (1) 区内企業の参画

区内企業約70社が本プラットフォームに参画しました。今後も、一般社団法人大田工業連合会等と連携して、区内企業の参画をより一層促進していきます。

- (2) 発注者へのプロモーションによる相談案件の獲得

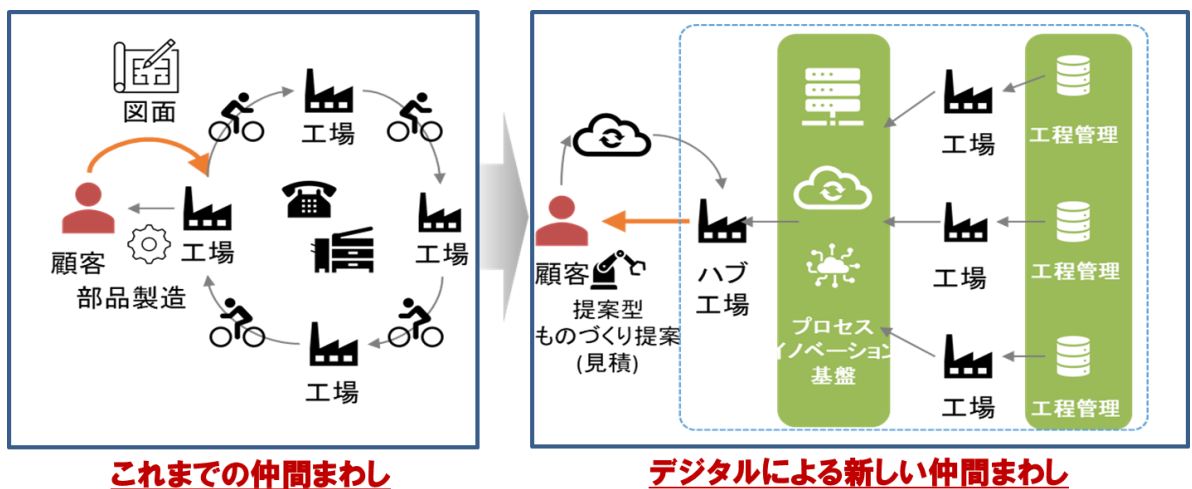
大手企業の新規事業開発セクション、大学・研究機関、スタートアップ等へのプロモーションを推進することで、利益率の高い提案・コンサルティング領域の相談案件を獲得しました。

- (3) 海外展開に向けた検討

将来的な海外マーケットへの展開に向けて、区内企業を取り巻く環境変化及び海外市場のニーズ調査を実施しました。

- (4) 推進体制の強化

公益財団法人大田区産業振興協会、I-OTA 合同会社、株式会社テクノアとの連携により、民間による機動性と公共性を併せ持つ、持続可能な推進体制を構築しました。



(3) 地域課題解決型ビジネス支援業務					
令和5年度予算額	:	2,660千円	令和4年度決算額	:	2,640千円

【事業概要】

近年の外部環境の急速な変化(コロナ対応、SX・DX・GX 推進等)に対応するために、国内でも優秀な研究開発シーズを持つ大学等と連携し、スピード感を持ち、新分野、新ビジネスに挑戦する起業家創出が必要となってきました。

大田区は、区内に所在する東京工業大学の超スマート社会推進コンソーシアム (SSS) と連携し、学生への起業ノウハウの提供、起業マインドの醸成、区内起業メリットの理解促進などを目的とした講義「大田区起業体験/実践オフキャンパスプロジェクト」を開講します。

なお、今年度は、令和6年度中と言われている東京医科歯科大学との統合も意識し、医療系テーマも包含したカリキュラムとします。

【対象者】

東京工業大学の起業に関心のある学生 (主に、修士課程、博士課程)

【令和4年度実績】

東京工業大学 SSS との連携により、令和4年12月から令和5年2月にかけて、「大田区起業体験オフキャンパスプロジェクト」を開講しました。令和3年度は、計2日間のセミナー形式で行いましたが、令和4年度は、正式な講義科目として計7日間、具体的な起業ノウハウに関する講義、経験豊富な起業家によるメンタリングや大田区ならではのフィールドワーク等を通じて、各受講生の研究テーマの事業化を目指した実践的なカリキュラムを提供しました。



ものづくり集積都市間連携事業 (22 頁にも事業説明あり)		情報提供・ネットワーク			
令和5年度予算額	:	95千円	令和4年度決算額	:	105千円

(1) 医工連携自治体協議会 (予算計上なし)

【事業概要】

平成27年5月に大田区、文京区、川崎市の3自治体が、医工連携に関して、自治体レベルでネットワークを構築し、以降、医療機器産業及びものづくり産業の活性化を目指すための協議を行っています。

【令和4年度実績】

医工連携オンラインセミナー (2回) (区は後援)

(3) 産業振興担当（工業）（電話番号：03-5744-1376）

大田区の産業集積を維持、発展させていくため、ものづくり産業振興全般の政策立案を行い、立地促進を図るとともに、子どもから大人まで全てのステージにアプローチする切れ目ない人材育成事業を展開します。また、自治体間ネットワークの構築や区内企業の優れた技術力を発信する産業PR事業を実施します。

ものづくり集積都市間連携事業（21 頁にも事業説明あり）		情報提供・ネットワーク	
令和 5 年度予算額	： 95 千円	令和 4 年度決算額	： 104 千円

（1）産業のまちネットワーク推進協議会			
令和 5 年度予算額	： 95 千円	令和 4 年度決算額	： 104 千円

【事業概要】

大田区と同じく「産業のまち」と言われている都市が連携し、共同調査、研究、情報交換を通じて産業振興施策の新たな展開を図ります。

※ 加盟都市一覧（全 19 都市）

山形県米沢市、福島県いわき市、新潟県柏崎市、長野県伊那市、長野県諏訪市、長野県坂城町、長野県飯田市、長野県茅野市、群馬県桐生市、群馬県太田市、静岡県富士市、埼玉県さいたま市、神奈川県寒川町、東京都板橋区、東京都八王子市、東京都品川区、東京都大田区、神奈川県相模原市、神奈川県川崎市

【令和 4 年度実績】

総会 1 回、定例会 2 回、連携セミナー 1 回（参加者 125 名）

区内工場立地・操業環境整備助成事業		ものづくり拠点の形成	
令和 5 年度予算額	： 527,494 千円	令和 4 年度決算額	： 201,240 千円

（1）貸工場・工場用地マッチング事業（予算計上なし）

【事業概要】

貸工場及び工業用地の流通促進を図り工場の立地しやすい環境を整備するため、事業の趣旨に賛同する宅地建物取引業者を「ものづくり応援宅建業者」として登録し、また公益社団法人東京都宅地建物取引業協会大田区支部の協力を得て、区ホームページで区内物件情報を提供します。

【対象者】

大田区内に立地または移転を希望し、民間貸工場または工業用地についての情報を求めている製造業者

【令和 4 年度実績】

情報提供申請件数 1 件、ホームページ掲載申請数 3 件

（2）ものづくり工場立地助成			
令和 5 年度予算額	： 463,934 千円	令和 4 年度決算額	： 167,797 千円

ア ものづくり工場立地助成

【事業概要】

区内で操業を希望する企業が、事業規模の拡張や事業の高度化のために行う工場の新增設等又は

区内及び区外からの移転に係る経費を一部助成することにより、ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の 1/3
 - 補助限度額：1,000 万円
 - 助成期間：3 年(年度ごとに操業状況を確認し交付。1 年目 1/2、2 年目 1/4、3 年目 1/4)
- ただし、補助対象経費が 500 万円未満の場合は一括交付とする。

【対象者】

3 年以上継続して同一の業種を営む中小企業者、区内の貸工場所有者

※ 中小企業者：中小企業基本法（昭和 38 年法律第 154 号）第 2 条に規定する中小企業者

【令和 4 年度実績】

- 令和 4 年度新規認定企業数 50 件（内交付済 22 件）
- 1 年目～3 年目交付企業数 72 件

イ 工場アパート立地助成

【事業概要】

工場アパートを整備する民間企業（以下要件(ア)もしくは(イ)に該当する企業）の施設整備費の一部を助成します。

- 要件
 - (ア) 集合型工場アパート（所有者が入居しない工場アパート）
貸工場の作業場面積が 2,000 m²以上で、5 社以上が入居するもの
 - (イ) 地域中核工場アパート（自社工場に貸工場を併設させた工場アパート）
貸工場の作業場面積が 200 m²以上で、2 社以上が入居するもの
- 補助率：補助対象経費の 1 / 4
- 補助限度額：5 億円

【令和 4 年度実績】

交付企業件数 地域中核工場アパート交付 1 件

(3) ものづくり企業立地継続補助金	
令和 5 年度予算額	30,000 千円
令和 4 年度決算額	6,534 千円

【事業概要】

防音、防臭、防振等の操業環境の改善を目的とした工場の改修事業、周辺環境及び近隣住民へ配慮するために行う工場の移転事業、外観の美化、緑道の整備にかかる経費を助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の 3 / 4
- 補助限度額：375 万円

【対象者】

- ・区内に本社又は事業所の登記があり、東京都内で 1 年以上操業している製造業又は機械修理業の中小企業者
- ・区外（東京都内）で 1 年以上継続して操業し、区内に移転する製造業又は機械修理業の中小企業者

【令和 4 年度実績】

交付企業件数 3 件

(4) 研究開発企業等拠点整備助成事業					
令和5年度予算額	：	15,000千円	令和4年度決算額	：	8,735千円

【事業概要】

区内で操業を希望するファブレス企業、製造業を営む中小企業及びものづくりサポート企業が、事務所や研究開発施設等の開設若しくは増築・改築又は区内及び区外からの移転を行う際にかかる経費を助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の1/3
- 補助限度額：300万円

【対象者】

区内外で1年以上継続して同一の業種を営む中小企業者であり、大田区内での操業を希望するファブレス企業、製造業を営む中小企業及びものづくりサポート企業

【令和4年度実績】

交付企業件数4件

(5) 企業立地促進サポート業務					
令和5年度予算額	：	17,484千円	令和4年度決算額	：	17,432千円

【事業概要】

大田区には、多様な基盤技術を有する中小企業が集積していますが、新規立地スペースの不足等、立地上の課題から、ものづくり企業等が区外へ転出するケースが生じています。今後も、区の産業集積を維持、発展させていくためには、区内企業の留置対策としての「持続的操業支援」及び区外から波及効果の高い「企業誘致」を進めていくこと、受け皿となる「不動産情報を収集」して新規立地・事業拡張意向等のある事業者を紹介し、マッチングを図ることが不可欠です。そのため、区内の中核となっている企業への訪問により、企業が抱える立地上の課題等を把握するとともに、区外企業へのアンケート調査、訪問等を実施し、さらに空き工場・工業用地の調査等により、区内への立地促進を図ります。

あわせて、助成金相談・申請受付を区窓口に加え現場で実施することで、よりきめ細やかな案内を行い、助成金制度の活用促進及び区施策のPRの充実を図ります。

さらに、平成30年3月28日に国から同意を得た地域未来投資促進法における地域経済牽引事業計画の策定について、事業者への活用促進等を実施します。

【令和4年度実績】

- 企業留置・誘致のための企業訪問件数 178件
- 不動産情報の収集のためのヒアリング 86件

(6) 地域未来投資促進法に基づく東京都大田区基本計画（予算計上なし）
--

【事業概要】

東京都と大田区が共同で「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）」に基づく「東京都大田区基本計画」を策定し、平成30年3月28日付けで、都内で初めて国から同意を得ました。

- ア 計画名：東京都大田区基本計画
- イ 計画期間：平成30年3月28日から令和5年度末日まで
- ウ 対象地域：東京都大田区

エ 地域の特性及びその活用戦略

- 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野
- 東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野
- 東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラを活用したクールジャパン発信機能関連産業（文化産業事業）分野

【制度概要】

地域未来投資促進法は、地域の特性を活用した事業の産み出す経済的波及効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するものとして、平成29年7月に施行された法律です。

同法のもと、都道府県と市町村が基本計画を作成して国の同意を得たうえで、事業者が策定する地域経済牽引事業計画を都道府県が承認すると、事業者は、国による各種支援措置が受けられるようになります。

このたび国から同意を得た地域未来投資促進法に基づく「東京都大田区基本計画」は、令和5年度末日までを計画期間とします。

本計画では、大田区の「機械・金属加工関連産業の集積」と「東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラ」という地域特性を活用し、成長ものづくり分野、クールジャパン発信機能関連産業（文化産業事業）分野において、高い経済的波及効果をもたらすよう、地域外との取引で獲得した需要が本区域に所在する事業者間での取引を通じて地域内に波及して好循環を生む状況を目指してまいります。

(7) 先端設備等導入計画の認定事業（予算計上なし）

【事業概要】

平成30年6月6日に施行された生産性向上特別措置法及び令和3年6月に改正された中小企業等経営強化法に基づき、中小企業者が、区市町村の認定を受けた計画に基づいて先端設備等を導入する際の支援措置をすることで、地域の自主性のもと、生産性向上のための設備投資を促進するものです。

区は、中小企業者が先端設備等を導入し、都内で最も設備投資が活発な自治体の1つとなり、更に経済発展していくことを目指して、「導入促進基本計画」の協議書を策定し、国に提出し同意を得ました。内容は以下のとおりです。

- ア 対象者：区内に事業所を有する中小企業者等
- イ 対象区域：区内全域
- ウ 対象業種：全業種
- エ 対象事業：本計画において労働生産性が年平均3%以上に資すると見込まれる事業
- オ 労働生産性に関する目標：先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性が年平均3%以上向上すること
- カ 先端設備等の種類：労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される設備（機械及び装置、器具及び備品、測定工具及び検査工具、建物附属設備、ソフトウェア）
- キ 導入促進基本計画の計画期間：国が同意した日から2年間
- ク 先端設備等導入計画の計画期間：3年間、4年間、または5年間

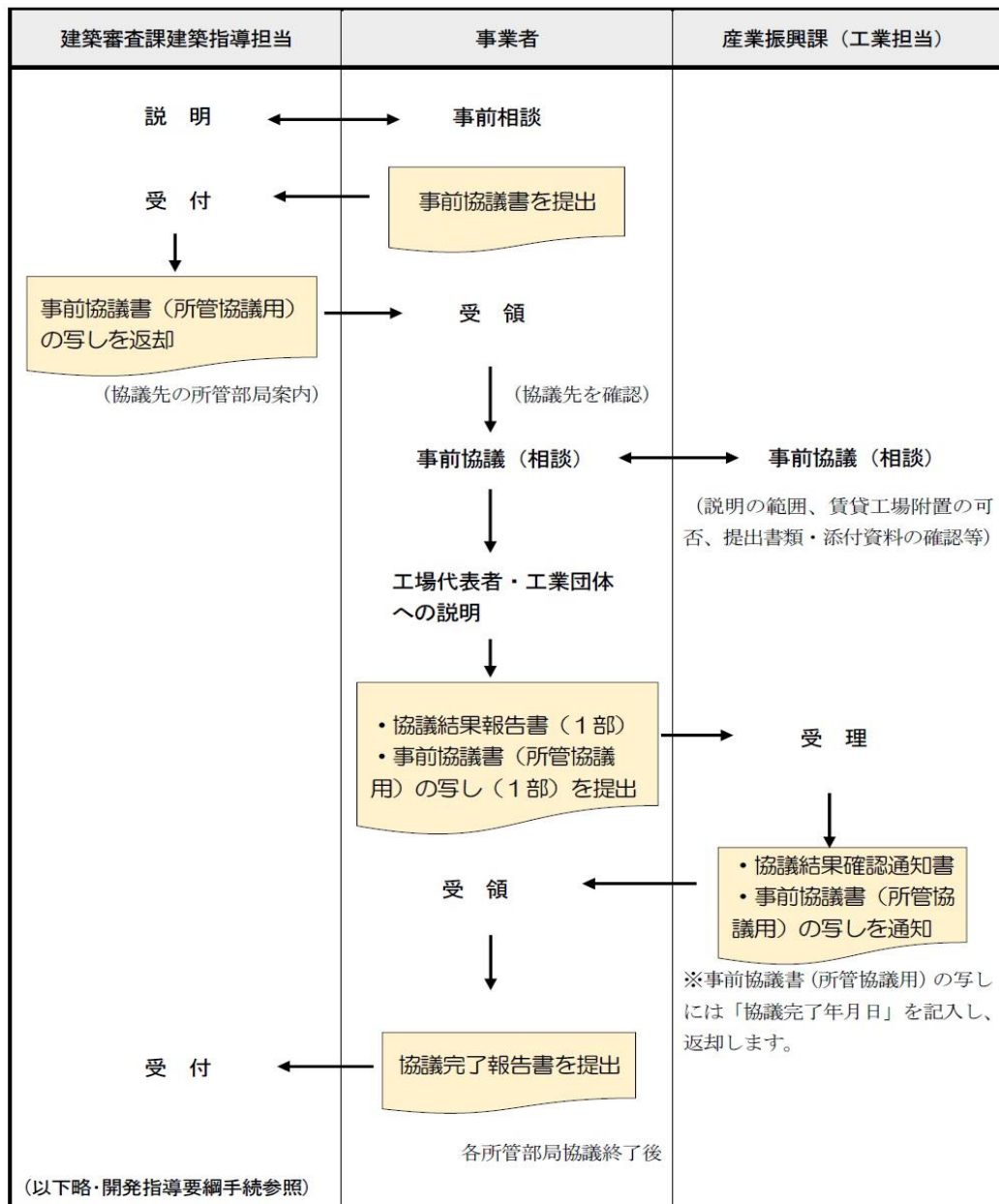
【令和4年度実績】

認定企業数 27件

(8) 工業地域・準工業地域における集団住宅等建設事業に係る調整（予算計上なし）

【事業概要】

住工混在によるトラブルの未然防止と工業の生産環境を保全するため、工業地域・準工業地域に集団住宅等を建設する事業者・集団住宅等入居予定者と建設予定地周辺の工場代表者・工業団体との調整を行います。



【令和4年度実績】

受理件数 41件

ものづくり人材育成事業		人材育成・確保	
令和5年度予算額	： 29,234千円	令和4年度決算額	： 28,788千円

(1) 次世代ものづくり人材育成事業					
令和5年度予算額	：	29,216 千円	令和4年度決算額	：	28,733 千円

【事業概要】

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。また、小中学生を対象としたものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

【令和4年度実績】

- ・技術指導講習会：8回、参加者 103 人
- ・次世代経営者育成セミナー：2回、参加者 31 人
- ・新入社員セミナー：2回、参加者 34 人
- ・工業団体実地研修会 9 回：日帰り・5 団体 95 人
宿泊・4 団体 56 人
- ・工業団体経営革新支援事業講習会：13 回 273 人
- ・産業のまちスクール：2 回、参加者 94 人
- ・ものづくり実践教室Ⅰ：4 回、参加者 200 人
- ・ものづくり実践教室Ⅱ：3 回、参加者 48 人
- ・人材育成情報、行政情報の広報：年 6 回

(2) ものづくり教育・学習フォーラム（予算計上なし）

【事業概要】

教育委員会指導課との連携により、学校でのものづくり学習や近隣の工場などでのものづくり体験など、ものづくりの様々な体験を通し、新たなものを生み出す創造的な価値を一般区民に知らせるとともに、大田区の産業の発展と日本の「ものづくり ひとづくり くにづくり」の世論形成の推進を図ります。

学習フォーラムにおいては、ものづくり教育・学習発表会、作品・体験学習展示、競技会（木工の部・ソーイングの部）、ものづくり体験への参加等を行います。

【令和4年度実績】

総入場者数 4,894 名

○ものづくり教育・学習発表会

小学校 9 校、中学校 5 校、高等学校 2 校

○ものづくり作品・体験学習展示発表

小学校 30 校、中学校 28 校、都立特別支援学校 3 校、大田区小学生科学展 30 校

○ものづくり体験

参加団体 16 団体、体験者数 693 人

○ものづくり競技会（コンテスト）

木工の部 8 校（15 人）、ソーイングの部 7 校（9 人）

産業支援施設指定管理者管理代行		ものづくり拠点の形成	
令和5年度予算額	: 268,675千円	令和4年度決算額	: 310,284千円

(1) 工場アパート等 (管理代行費)			
令和5年度予算額	: 113,649千円	令和4年度決算額	: 167,615千円

【事業概要】

工場の操業環境改善による工業集積の維持発展を図るとともに、産業と生活環境との調和など、産業のまちづくりの実現を目指すため、工場アパートを設置しています。また、区内中小企業者の生活の安定と福祉向上のために、中小企業者賃貸住宅を設置しています。

【対象施設】

- 本羽田二丁目工場アパート (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区本羽田二丁目7番1号 (SRC造8階建て)
 - 敷地面積: 1,642.98㎡、延床面積: 1,256㎡ (工場棟)、開設年月: 平成9年2月
 - 施設形態: 1階、2階 各4ユニットの賃貸工場 3階から8階区民住宅21戸
 - ユニット: 100㎡×8ユニット
- 本羽田二丁目第2工場アパート (テクノWING)
 - (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区本羽田二丁目12番1号 (SRC造5階建て)
 - 敷地面積: 6,576.54㎡ (中小企業者賃貸住宅を含む)、延床面積: 9,464.29㎡
 - 開設年月: 平成12年5月
 - ユニット: 48ユニット (約50㎡から約224㎡まで8タイプ (約100㎡タイプが20戸で最多))
- 下丸子テンポラリー工場 (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 区内工場建替え期間中の仮作業所 (一時操業場所) として貸し出しています。
 - また、工場建替えの場合以外でも以下のいずれかを満たしていれば申請が可能な場合があります。
 - (1) 組立用等で仮作業場を必要としている者
 - (2) 急な受発注増等で仮荷物置場等を必要としている者
 - (3) 立ち退き要請等により仮作業場を必要としている者
 - (4) 火事等の災害により仮作業場を必要としている者
 - (5) 産学連携等で開発現場等を必要としている者
 - 所在地: 大田区下丸子四丁目9番14号 (RC造2階建て)
 - 敷地面積: 400.00㎡、延床面積: 339.50㎡、開設年月: 平成6年4月
 - 施設形態: 1階、2階各2ユニットの建替促進賃貸工場
 - ユニット: 84.5㎡×4ユニット
- 中小企業者賃貸住宅 (ウイングハイツ) (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区本羽田二丁目12番2号 (SRC造7階建て)
 - 敷地面積: 6,576.54㎡ (本羽田二丁目第2工場アパートを含む)、延床面積: 2,245.15㎡
 - 開設年月: 平成12年8月
 - 住戸数: 28戸 (1DKタイプ8室、3DKタイプ20室)

- 東糀谷六丁目工場アパート(OTA テクノ CORE) (建物所有者：みずほ信託銀行株式会社) ※大田区が借上げ、工場、研究開発拠点として貸し出します。
所在地：大田区東糀谷六丁目4番17号 (RC造4階建て)
敷地面積：4,257.68 m²、延床面積：8,488.65 m²、開設年月：平成24年6月
ユニット：33ユニット(約90 m²から約228 m²まで11タイプ (約200 m²タイプが23戸で最多))
- 大森南四丁目工場アパート (テクノ FRONT 森ヶ崎)
(管理事業者：NPT・RIO 共同企業体 (代表企業：野村不動産パートナーズ株式会社、構成企業：株式会社リオ・コンサルティング)) ※令和5年度から民間事業者による運営を開始。
所在地：大田区大森南四丁目6番15号 (RC造5階建て)
敷地面積：5,945.41 m²、延床面積：10,730.89 m²、開設年月：平成20年5月
ユニット：49ユニット(約47 m²から約335 m²まで9タイプ (約100 m²タイプが22戸で最多))

【担当・問い合わせ】

- 本羽田二丁目工場アパート、本羽田二丁目第2工場アパート、下丸子テンポラリー工場、中小企業者賃貸住宅
入居希望・施設管理：野村不動産パートナーズ株式会社
電話：03-5735-3230 FAX：03-5735-3231
- 東糀谷六丁目工場アパート
入居希望・施設管理：野村不動産パートナーズ株式会社
電話：03-5735-3660 FAX：03-5735-3667
- 大森南四丁目工場アパート
施設総合案内：野村不動産パートナーズ(株) 電話：03-5735-1140 FAX：03-6905-7030
入居希望の場合：リオ・コンサルティング(株) 第6資産運用事業部
電話：03-5156-8887 FAX：03-5156-8889

(2) 大田区南六郷創業支援施設 (管理代行費)					
令和5年度予算額	：	155,027 千円	令和4年度決算額	：	142,669 千円

【事業概要】

新規創業者や新分野進出等に取り組む事業者が新規創業をしやすい環境を整え、区内産業の発展や創業機運醸成のために、「大田区南六郷創業支援施設 (六郷BASE)」を開設いたしました。

【対象施設】

- 大田区南六郷創業支援施設
指定管理者：南六郷創業支援施設運営共同事業体
(代表企業：株式会社ツクリエ、構成企業：野村不動産パートナーズ株式会社)
所在地：大田区南六郷三丁目10番15号 (RC造3階建て)
敷地面積：1,349.30 m²延床面積：578.39 m²、開設年月：令和3年10月
主な施設：3階個室、2階シェアードオフィス、コワーキングスペース
1階オープンスペース、セミナールーム、試作室

【担当・問い合わせ】

入居希望・施設管理：六郷BASE 運営事務局 (株式会社ツクリエ) 電話：03-6715-9751

産業支援施設その他の維持管理費		ものづくり拠点の形成	
令和5年度予算額	： 512,615千円	令和4年度決算額	： 483,597千円

(1) 旧羽田旭小学校敷地の整備	
令和5年度予算額：予算計上なし	令和4年度決算額（執行委任）： 18,376千円

【事業概要】

旧羽田旭小学校施設及び敷地については、区内ものづくり産業の持続的発展に貢献するまちづくりを推進するため、令和4年度に行ったプロポーザルによりミサワホーム株式会社（代表企業）と事業契約を締結しました。提案事業者と連携し、産業支援施設としての需要や社会情勢を考慮し、ニーズが高い活用方法となるよう検討していきます。

(2) インダストリアルパーク羽田大田区産業施設（Techno Square Haneda）			
令和5年度予算額	： 195,932千円	令和4年度決算額	： 200,284千円

【事業概要】

区の産業集積の維持・発展に資するため、羽田空港に近接した「三井不動産インダストリアルパーク羽田」内に産業支援施設を設置しています。製造業を中心とした工場、研究所等といった業態が立地することで、区内の高度なものづくり技術集積との連携が促進され、立地企業の成長に寄与するとともに、区内全体のものづくり企業の維持・発展に結び付けます。

【対象施設】

- 三井不動産インダストリアルパーク羽田 大田区産業施設（Techno Square Haneda）
（建物所有者：三井住友信託銀行株式会社）
※大田区が借上げ、工場、研究開発拠点等として貸し出します。
所在地：大田区羽田旭町10番11号（S造・ブレース付ラーメン構造（免震構造））
延床面積：5,739.11㎡（大田区専有部分）、開設年月：令和元年12月
施設形態：1階、2階 各2ユニット
ユニット：4ユニット（101、102、201、202）、約1,000㎡～1,200㎡

(3) 京浜島建替促進事業用車両一時保管施設			
令和5年度予算額	： —	令和4年度決算額	： —

【事業概要】

大田区京浜島建替促進事業用地について民間事業者と土地賃貸借契約を締結し、島部ものづくり中小企業の建替促進事業に供する車両一時保管場所として令和2年3月1日から運営しています。

(4) 大田区産業連携施設等			
令和5年度予算額	： 9,673千円	令和4年度決算額	： 8,794千円

【事業概要】

新規創業者や新分野への進出に取り組む事業者及び区内中小企業の新産業分野進出や新技術の実用化を目的とした研究開発事業を支援し、地域産業の活性化を図るため、創業支援施設等を運営しています。

【対象施設】

○ 新産業創造支援施設

所在地：大田区南六郷三丁目 15 番 10 号（RC 造 2 階建て）

敷地面積：1,349.30 m²延床面積：578.39 m²、開設年月：平成 18 年 4 月

施設形態：1 階 2 ユニット、2 階 1 ユニット 旧南六郷土木事務所を改装し活用
現在、入居申請受付は行っていません。

※なお創業支援施設「BIC あさひ」は令和 3 年 3 月に、産学連携施設は令和 3 年 5 月に使用終了となりました。

経営革新支援事業（17 頁及び 39 頁に記載あり）		人材育成・確保	
令和 5 年度予算額	： 4,881 千円	令和 4 年度決算額	： 2,595 千円

（1）事業承継の取組			
令和 5 年度予算額	： 495 千円	令和 4 年度決算額	： 495 千円

【事業概要】

・事業承継の取組支援

平成 31 年度税制改正において、10 年間の限定で個人事業者も事業承継税制の対象となったため、集中して周知を図ります。

なお、事業承継では事業者ごとに状況が異なり、課題が多岐にわたることが予想されます。スムーズな事業承継を実現するため、各種専門家から切れ目のない支援をワンストップで受けられる体制を構築します。

【令和 4 年度実績】

・事業承継等情報説明会 1 回



←大田区南六郷創業支援施設（六郷 BASE）
で開催されたイベントの様子

→大田区南六郷創業支援施設（六郷
BASE）コワーキングスペース



(4) 産業振興担当（商業）（電話番号：03-5744-1373）

区内商店会を中心に、浴場、農業、その他各種産業団体への支援を行い、地域の賑わいを創出するとともに区内産業の活性化を図っています。

商店街装飾灯整備助成		商店街・商い・サービス業	
令和5年度予算額	： 64,000 千円	令和4年度決算額	： 33,162 千円

【事業概要】

商店会に対し、装飾灯整備費の一部を助成することにより、商店街の整備及び活性化と地域の防犯にも貢献できる環境に配慮した魅力ある商店街づくりに寄与します。

(1) 商店街装飾灯設置等補助			
令和5年度予算額	： 2,069 千円	令和4年度決算額	： 126 千円

【事業概要】

ア 商店街装飾灯設置等補助

設置基数の1/2に1基あたりの設置経費の1/2の額（限度額134,000円）を乗じた額

イ 商店街装飾灯移設補助

移設経費の1/4の額

ウ 商店街装飾灯撤去補助

1基あたりの撤去経費の額（限度額200,000円）に1/2を乗じた額

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和4年度実績】

ア 商店街装飾灯設置補助：0商店会

イ 商店街装飾灯移設補助：1商店会

ウ 商店街装飾灯撤去補助：1商店会

(2) 商店街装飾灯維持管理費補助			
令和5年度予算額	： 40,578 千円	令和4年度決算額	： 33,036 千円

【事業概要】

ア 電灯料補助

各商店会の基準本数に補助基準単価8,400円を乗じた額（限度額年間支払い電灯料額）と、年間支払電灯料額に1/2を乗じた額（限度額100万円）を比較し、いずれか高い額を補助

イ 小規模修繕費補助

各商店会の基準本数に補助基準単価5,000円を乗じた金額を上限に補助

ウ 申請補助業務（委託）

各商店会から出された申請書等について、書類点検等を区商連へ委託して実施

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

(3) 商店会装飾灯等一斉点検事業		
令和5年度予算額(新規) :	21,354千円	令和4年度決算額 : —

【事業概要】

商店会にある装飾灯、アーチ、アーケードは景観及び防犯等、重要な役割を担っています。今後、災害及び首都直下型地震等に伴う倒壊が懸念されるなか、日頃から装飾灯等を適切に管理し来街者の安全を担保するため、区内にある装飾灯等について3年間を目途に点検します。

【対象者】

区内で装飾灯、アーチ、アーケードを所有する商店会

区内商店街連携強化推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和5年度予算額 :	14,261千円	令和4年度決算額 :	14,270千円

【事業概要】

区内商業活性化のため、大田区商店街連合会(以下「区商連」とする。)並びに各商店会等の連携強化を推進します。各事業は、区商連へ委託して実施します。

ア 商店街魅力賑わいPR事業

民間事業者と連携し、多様性に富む大田区商店街の魅力をキャンペーン等でPRし、商店街への誘客及び賑わいの創出を図ります。

イ 区内共通商品券拡充事業

大田区内共通商品券発行・拡充事業として、区内共通商品券及び取扱店名簿の制作・発行、商品券袋等の購入を行います。

ウ 若手商人ネットワーク事業

若手のネットワークづくりや、課題解決力を身に着けることを支援し次世代を担うリーダー育成を図ります。

【対象者】

大田区商店街連合会、区内商店会等

【令和4年度実績】

○ 商店街魅力賑わいPR事業

- ・「鉄道沿線連携事業」

京浜急行電鉄と人気キャラクター『すみっコぐらし』、区内商店会が連携しオリジナルグッズ販売や回遊施策を実施。商店街フラッグ作成やとんかつ食事券、オリジナルカップセルトイ販売、コラボ商品開発など。

- ・「展示等PR事業」

区内レトロスポットを紹介するWEBサイト作成、観光協会主催のフォトコンテストやスタンプラリーの紹介と商店街回遊促進事業の実施。また、グランデュオ蒲田の東西通路にてレトロスポットを紹介する展示会を実施。雑誌『散歩の達人』でのキャンペーン告知など。

○ 若手商人ネットワーク事業

- ・次世代リーダー育成塾(ネットワーク事業)12名参加、3事業実施
- ・次世代リーダー育成塾(トライアル事業)28名参加、5事業実施

商店街振興組合等推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和5年度予算額	： 5,379千円	令和4年度決算額	： 3,740千円

【事業概要】

商店会の法人化を推進し、区内商業の発展を図るため、法人化された組合の運営面への指導と、運営経費の一部補助を行います。また、商店街振興組合等の若手の活動が活発になるように青年部設立・活動について支援します。

【対象者】

商店街振興組合法及び中小企業等協同組合法の規定に基づいて設立され、商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された組合

【令和4年度実績】

- 既存組合運営指導：28組合
- 既存組合運営費補助：23組合
- 青年部設立・活動費補助：4組合

商店街チャレンジ戦略支援事業		商店街・商い・サービス業	
令和5年度予算額	： 294,612千円	令和4年度決算額	： 119,338千円

【事業概要】

商店会が行う商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベントや商店街づくりに対して助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街機能の充実を図ります。

補助対象事業	補助率	補助限度額	備考（利用回数等）
イベント事業	2 / 3	40万円～ 600万 共催は1,200万円	1商店会2事業まで 共催は別途1事業追加まで
活性化事業	2 / 3 ～ 5 / 6	40万円～ 2,000万円 12,500万円	1商店会1事業まで 商店会の組織形態に応じた限度額設定
多言語対応事業	5 / 6	833万円	1商店会1事業まで（活性化事業含む）
キャッシュレス対応事業	5 / 6	1,666万円～ 8,333万円	1商店会1事業まで 商店会の組織形態に応じた限度額設定
地域力向上事業（感染症対策事業）	5 / 6	50万円	1商店会1事業まで
地域連携型事業	4 / 5 または 2 / 3	800万円 または 666万円	商店街と地域団体とで実行委員会を組織 補助率4 / 5 新規の取組の場合 補助率2 / 3 継続した取組の場合
小額支援事業	8 / 9	88万円	前年度まで商店街チャレンジ戦略支援事業及び東京都の他の商店街振興事業を实

			施していない場合のみ利用可
イベント事業 (若手・女性支援事業)	8 / 9	88 万	1 商店会 1 事業まで
未来を創る商店街支援事業 (新規)	5 / 6	166 万円～ 8,333 万円	1 商店会 1 事業まで

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会、大田区商店街連合会及び大田区商店街振興組合連合会

【令和4年度主な実績】

- イベント事業：73 事業
- 活性化事業：6 事業
- 地域連携型事業：2 事業
- イベント事業（若手・女性支援事業）：2 事業

商店街活性化推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和5年度予算額	： 456,985 千円	令和4年度決算額	： 553,412 千円

【事業概要】

区内商店会等が実施する商店街活性化のための事業について、その経費の一部又は全部を助成することで、にぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図ります。

ア 大田区プレミアム付デジタル商品券

区民生活支援及び地域のキャッシュレス化を更に定着させ、デジタルの力を活用した区内経済の循環創出を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行します。

イ 大田区商店街プレミアム付地域商品券発行事業

地域店舗の利用を促進し、区内経済循環の創出を支援するため、商店会が発行するプレミアム付商品券に対して補助します。

ウ 商店街ステップアップ応援事業

a 巡回相談業務

商店会を巡回し、各種支援制度を案内するほか、商店会が抱える課題に対して解決に向けた専門家の派遣等の提案を行います。業務委託により実施します。

b 組織力強化支援業務

商店街、商業集積の持続的発展を図るため、専門性の高い外部人材を活用し、組織力の強化を支援します。業務委託により実施します。

エ 大田区商店街戦略的 PR 事業

訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会又は個店グループが PR を実施する事業について、媒体制作費等を補助します。補助率は 4 / 5、補助限度額は 16 もしくは 32 万円まで、同一年度内に 1 商店会 2 回まで利用可。

【対象者】

- ア 大田区プレミアム付デジタル商品券
大田区在住・在勤・在学の方
- イ 大田区商店街プレミアム付地域商品券発行事業
各商店会にて決定する
- ウ 商店街ステップアップ応援事業
大田区商店街連合会及び商店会
- エ 大田区商店街戦略的 PR 事業
商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会等

【令和4年度実績】

- 大田区プレミアム付デジタル商品券：利用者 46,137 人 利用部数 214,784 部、
利用総額約 1,288,703 千円、登録店舗数：2,037 店
- プレミアム付区内共通商品券：利用冊数：172,031 冊、利用総額約 946,170 千円、
登録店舗数：2,991 店
- 商店街ステップアップ応援事業：巡回先 134 商店会、巡回数延べ 327 回
- 大田区商店街戦略的 PR 事業：19 事業（16 会）

大型店対策（予算計上なし）	その他の業種
----------------------	--------

【事業概要】

区内に出店する店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の近隣地域への生活環境に対する影響等を総合的に判断し、大規模小売店舗立地法に基づき、地元自治体として法律の運用主体である東京都に対し意見を述べます。その際、区民の要望等、必要に応じて地域環境への影響調査を行います。また、店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店に対しては、区独自の要綱で対応します。

【対象者】

- ア 大規模小売店舗立地法に基づく届出
店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の出店者
- イ 大田区要綱「大田区大規模小売店舗の出店に伴う生活環境保全のための要綱」に基づく届出
店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店の出店者

【令和4年度実績】

- ア 大規模小売店舗立地法に基づく都への意見表明 1 件

【変更】 HANEDA INNOVATION CITY

- イ 区要綱に基づく届出 0 件

野菜と花の品評会		農業	
令和5年度予算額	： 920 千円	令和4年度決算額	： 534 千円

【事業概要】

区内農産物の栽培出荷技術の改良と優良品種の普及を図るため、区内農業者による品評会を実施します。また、出品物を区民に展示・即売することにより、区内農業への理解を深めることを目的としています。

【対象者】

(出品者) JA 所属の区内農家、(即売会) 一般来場者

【令和4年度実績】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、品評会と即売会のみ実施し、展示会や催事は中止。

出品物：野菜 183 点、花き類 24 点、果実類 89 点、合計 296 点

区民農園		農業	
令和5年度予算額	： 6,713 千円	令和4年度決算額	： 16,516 千円

【事業概要】

特定農地貸付法に基づき、農地を区が無償で借り上げ、区割りをを行い、園芸を楽しみたい区民に有料で貸与しています。

利用期間1年11月、標準区画約10㎡利用料金は月額換算で2,000円、小区画約5㎡利用料金は月額換算1,000円となっています。

【対象者】

区民(世帯単位)

【令和4年度実績】 ※令和4年9月末に2農園廃園

4月開始時：5か所、5,208㎡、343区画

年度末時点：3か所、3,348㎡、195区画

農漁業関連事業		農業	
令和5年度予算額	： 455 千円	令和4年度決算額	： 279 千円

【事業概要】

農業者と行政の情報連絡の場(農業振興連絡協議会)を設けます。また、新技術の吸収等、農業経営の改善に資するため、区内JAと共催で優良農業地の実地見学等を実施します。

【対象者】

大田区農業振興連絡協議会、JA所属の区内農家

【令和4年度実績】

農業振興連絡協議会の開催：3回実施

見学会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代替えとして講習会を実施。

公衆浴場施設改善助成		公衆浴場(銭湯)	
令和5年度予算額	： 40,080 千円	令和4年度決算額	： 24,584 千円

【事業概要】

公衆浴場の転廃業を防止するため、施設等の改善費を区内の公衆浴場に助成し、区民の健康と衛生を確保します。

ア バリアフリー化やレジオネラ菌対策を含む施設改善工事、備品購入に対する助成

補助率2/3、1浴場あたり3か年度で200万円まで助成

イ クリーンエネルギー化等推進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率2/3、1浴場あたり

200万円（LEDシステム照明器具設置については75万円）まで助成（令和4年度から高効率空調機への交換費用も対象に追加）

ウ 耐震化促進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率2/3、1浴場あたり200万円まで助成

エ 温泉設備メンテナンス等に対する助成

補助率2/3、1浴場あたりで30万円まで助成

オ 高所清掃事業に対する助成

補助率2/3、1浴場あたりで8万円まで助成

カ 健康増進型浴場改築等助成

補助率1/10 1浴場あたり800万円まで助成（改修）

【対象者】

区内の公衆浴場

【令和4年度実績】

22浴場

公衆浴場事業助成		公衆浴場（銭湯）	
令和5年度予算額	： 29,091千円	令和4年度決算額	： 23,517千円

【事業概要】

公衆浴場事業の運営を円滑にし、公衆浴場事業の振興と公衆衛生の向上を図るため、東京都公衆浴場生活衛生同業組合大田支部への助成を行います。

ア おおた写真ニュース掲示

イ 大田・川崎共同事業の実施（川崎市との産業連携に関する基本協定に基づく事業）

ウ 各種浴場事業費補助

しょうぶ湯、こども入浴デー（毎月第一日曜日）、ゆず湯（冬至の日）、ぼんたん湯、銭湯まつり（10月10日）、年末年始営業助成、浴場利用促進事業、施設運営費助成、衛生管理助成等

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和4年度実績】

ア おおた写真ニュース掲示委託 33浴場

イ 大田・川崎共同事業 12月12日～2月19日実施

ウ 各種浴場事業費補助 13事業実施

公衆浴場対策研究会（予算計上なし）	公衆浴場（銭湯）
-------------------	----------

【事業概要】

公衆浴場のこれからのあり方を検討するため、研究会を開催します。

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部との研究会を奇数月に開催

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和4年度実績】

年6回開催

計量器定期検査の事前調査（隔年実施）		その他の業種	
令和5年度予算額	： 0千円	令和4年度決算額	： 130千円

【事業概要】

適正な計量器を確保するため2年に一度、区内の計量器使用事業所を調査し、調査台帳の内容を更新して東京都に報告します（本検査は、東京都計量検定所がこの台帳に基づき実施します。）。

【対象者】

大田区内の計量器を使用する事務所

【令和4年度実績】

調査件数 1,166 件（参考 令和2年実施 1,180 件）

※次回は令和6年度実施予定

経営革新支援事業（17頁及び31頁にも事業説明あり）		人材育成・確保	
令和5年度予算額	： 4,881千円	令和4年度決算額	： 2,595千円

（1）事業承継の取組

令和5年度予算額	： 3,000千円	令和4年度決算額	： 2,100千円
----------	-----------	----------	-----------

【事業概要】

- ・事業承継支援事業（商業）

経営者や業態が変わっても「“商い”が引き継がれること」で、商店街・商業集積の維持、まちの賑わいづくりに繋げていけるよう、継ぐ側と継ぎたい側を繋げて「継業」を支援する事業承継の相談体制づくりや事業承継にかかる普及啓発を進めます。

※キャリア教育の連携は、令和3年度から「ものづくり人材育成事業」で実施

【令和4年度実績】

- ・セミナー開催：2回、事業承継支援：1回

(5) 産業振興担当（観光）（電話番号：03-5744-1322）

※組織改正により観光課から産業振興課に編入。

「区内経済活性化」、「シビックプライドの醸成」、「区の魅力度・知名度の向上」を柱に、自然や歴史そして人々の営みなどの区の魅力を活かす施策に取り組み、庁内各部署や事業者、団体、そして区民と一層の連携を行い、人と繋がる観光のまちづくりを進めてまいります。

来訪者受け入れ環境の整備		観光振興事業	
令和5年度予算額	： 10,195千円	令和4年度決算額	： 2,700千円

(1) 大田区ウェルカムスポットへの支援			
令和5年度予算額	： 1,617千円	令和4年度決算額	： 1,436千円

【事業概要】

来訪者に区内で快適に滞在していただき、食事や買い物を楽しんでいただくことを目的として、区が提供する支援メニューを活用して国内外からの来訪者を積極的に受入れる店舗・施設を「大田区ウェルカムショップ」として登録しています。また、来訪者が区内のあらゆる場所で手軽に観光情報を入手できることを目的として、観光マップやパンフレットの配布、近隣の簡単な案内等にご協力いただける店舗・宿泊施設等を「大田区まちかど観光案内所」として登録しています。

令和5年度は、来訪者・登録店舗の双方にご利用いただきやすいものとするため、上記2制度を「大田区ウェルカムスポット」として統合し、大田区全体で面としての誘客を図ります。

【対象者】

- ・訪日外国人、区内外からの来訪者

【令和4年度実績】

- ・大田区ウェルカムショップ：284か所
- ・大田区まちかど観光案内所：382か所、うち区施設72か所 ※令和5年3月31日現在

令和4年度は、ウェルカムショップ：10か所、まちかど観光案内所：5か所を新規登録した。



(2) 観光案内サイン推進事業			
令和5年度予算額	： 1,314千円	令和4年度決算額	： 9千円

【事業概要】

外国人旅行者や障がい者、高齢者など誰もが、安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただくことを目的として、観光案内サインを整備しています。観光案内サインには、観光資源や観光拠点等を日本語だけでなくピクトグラム・記号、多言語でも表記しているほか、観光情報や防災情報などにリンクするQRコードを掲出して、様々な情報提供を行っています。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民及び訪日外国人

【令和4年度実績】

- ・観光案内サイン 48 基の盤面修正を行いました。

(3) 大田区観光紹介用パンフレット					
令和5年度予算額	:	7,265 千円	令和4年度決算額	:	1,255 千円

【事業概要】

区民及び区内滞在者に対し区内の魅力を発信し、区内回遊及び区内消費拡大を促進することを目的として様々な観光紹介用パンフレットを作成しています。令和5年度は、観光紹介用パンフレットの刷新を予定しています。また、多言語パンフレットについては増刷のうえ日本政府観光局(JNTO)の海上発送を活用して区のPRを行います。

【対象者】

- ・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和4年度実績】

- (1) 「大田区観光ガイドブック」(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数: 5,000 部
- (2) 「蒲田ガイド」(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数: 8,000 部
- (3) 「大田区観光ガイドマップ」(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数: 10,000 部
- (4) 「大田区観光ガイドマップ」(英語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数: 5,000 部
- (5) 「#haneota」(日本語版)の一部改訂および増刷
 - ・作成部数: 7,000 部
- (6) 「#haneota」(英語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数: 2,000 部

※「大田区観光ガイドマップ」(英語版)及び「#haneota」(英語版)は(公財)東京観光財団の区市町村観光インフラ整備支援補助金を活用しました。

観光まちづくりの支援		観光振興事業			
令和5年度予算額	:	59,243 千円	令和4年度決算額	:	47,062 千円

(1) 一般社団法人 大田観光協会補助事業					
令和5年度予算額	:	59,243 千円	令和4年度決算額	:	47,062 千円

【事業概要】

(一社)大田観光協会の実施する事業を支援することで、民間視点での区内経済活性化・地域活性化を取り入れた観光振興施策を行います。

※詳細は73頁「第7 一般社団法人大田観光協会の事務事業」参照。

おおたの観光魅力発信事業		観光振興事業	
令和5年度予算額	： 18,422千円	令和4年度決算額	： 15,083千円

(1) 広域連携事業			
令和5年度予算額	： 2,900千円	令和4年度決算額	： 2,897千円

【事業概要】

川崎市・品川区・神奈川県等をはじめとした多様な自治体や民間企業と連携し、共同で情報発信を行うことで相乗効果を狙い、区内への誘客やにぎわいの創出につなげます。

1 神奈川県との合同プロモーション事業

羽田空港を起点とし、外国人観光客のニーズが高いジャンルに焦点を当てたプロモーションを実施します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、訪日外国人

【令和4年度実績】

- (1) 米国、中国及び台湾のFIT層をターゲットとしたWEBプロモーション事業
- (2) 台湾人インフルエンサー (YouTube) を活用した情報発信

2 周辺地域との連携事業

品川区・川崎市と連携し、羽田空港周辺に特化した外国人観光客向けの情報発信を行います。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、訪日外国人

【令和4年度実績】

台湾、タイをターゲットとしたWEBプロモーション事業

3 多様な主体による地域PR事業

観光資源の一部を共有する品川区と連携して、相乗・発信効果を高め、近隣諸都市からの区への誘客、にぎわいの創出を図ることを目的として、事業を実施します。

【対象者】

- ・区内外からの来訪者

【令和4年度実績】

- ・開催期間

2月18日から3月12日まで

- ・イベント内容

洗足池や旗の台などの周辺エリアの活性化を目的とし、両区の参加店舗と観光スポットを紹介したマップパンフレットを制作しました。制作物は東急電鉄駅構内に設置しているインフォメーションポケットなどで無料配布し、マップを用いた商店街に散りばめられた文字探しイベントの開催や参加店舗への冊子マップの提示による各店舗オリジナルの特典を差し上げるなど区内外からの誘客へ寄与することができました。



- ・イベントのノベルティ配布数
1,001冊

4 川崎市連携事業

大田区・川崎市との「観光まちづくり連携事業実行委員会」を中心に、両都市共通の魅力を柱とした観光PRや新たな集客等に向けて、協力関係を強化しながら事業を実施しています。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和4年度実績】

- ・開催日 令和4年11月23日（水祝）
- ・イベント名「大田・川崎 クラフトビールフェス」
- ・イベント内容



京急蒲田駅及び京急川崎駅の2駅でのマルシェ、京急蒲田駅発から京急川崎駅着の便にて、クラフトビール列車の運行を2便実施し、相互に連携した事業の実施を通して、区内外からの誘客へ寄与することができました。なお、令和5年度の事業については、両区市のコロナ禍における観光を取り巻く環境が大きく変化したことを受け、引き続き協議を行っていきます。

- ・マルシェ入場人数 2,695名
- ・ビール列車参加者数 69組 115名

(2) MICE 推進事業					
令和5年度予算額	：	7,918千円	令和4年度決算額	：	6,069千円

【事業概要】

区内における地域経済の活性化、シティセールス、観光・国際交流、文化、スポーツ、産業振興等を図ることを目的とし、大田区の得意とする中小規模の多様な会議に対応したMICE(※)を中心に誘致を行い、区内における地域経済の活性化と併せて区の認知度向上にもつなげます。

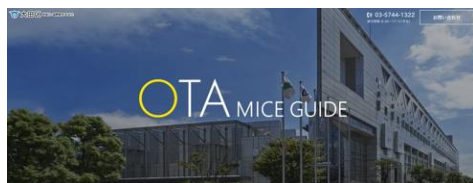
※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【対象者】

- ・区内外のMICE主催者及び参加者、区民

【令和4年度実績】

- (1) 大田区MICE誘致準備会 2回(うちオンライン開催1回)
- (2) 大田区MICE開催支援助成金の交付 4件
- (3) メディカルMICE専用サイト「うえるかむOTA」を「OTA MICE GUIDE」に機能拡充



←MICE専用サイト「OTA MICE GUIDE」トップページ
[https:// ota-mice-guide. jp/](https://ota-mice-guide.jp/)

(4) 日本工学会年報への広告掲載

(3) 大田区観光 PR 特使事業					
令和5年度予算額	:	105 千円	令和4年度決算額	:	13 千円

【事業概要】

大田区の魅力を区の内外に発信することを目的として、区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等各界で活躍・活動している個人 14 人及び 3 団体等に「大田区観光 PR 特使」を委嘱しています。それぞれの活躍の場や機会を通じて、区の魅力を広く発信してもらうことで、区の認知度向上や観光振興を図っています。

【対象者】

- ・訪日外国人、在住外国人、区外からの来訪者、区民

【令和4年度実績】

(1) シクラメン

「おおたふれあいフェスタ」への参加、国際交流員と共に大田区観光 PR 動画に出演し、羽田空港から池上本門寺、銭湯や羽根つき餃子など大田区の魅力を紹介しました。

(2) 東京羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ

ホームゲーム開催時における区内飲食店の紹介や清掃活動等の積極的な地域への貢献活動を行っています。また、地域イベントへの積極的な参加等により、大田区を PR しました。

(3) アースフレンズ東京Z

試合時に PR ブースを設置し、観光パンフレットや地域イベントへの積極的な参加など、各地で大田区を PR しています。

(4) はねびよん

「ご当地キャラ成田詣〜なりた座〜」、「世界キャラクターさみっと in 羽生」、「所沢市民フェスティバル」、「ムジナもん誕生日会」等の区外イベントへの参加及び「OTA ふれあいフェスタ 2022」をはじめとする区内イベントへの参加により、大田区の PR を行いました。

観光 PR 特使の各活動分野で大田区の魅力発信に寄与し、認知度向上及び誘客を図りました。

(4) 地域と協働した観光魅力発信事業（大田・品川連携は R3 年度より分離）					
令和5年度予算額	:	2,926 千円	令和4年度決算額	:	1,500 千円

【事業概要】

大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、マイクロツーリズムの推進による区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につなげることを目的として、地域 PR 事業を実施します。また、区民の地域に対する愛着・誇りを高める取組を行い、区民による区外に向けた大田区観光推奨を促します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和4年度実績】

大岡山・雪が谷大塚エリア PR 事業「第2回 おーたの麺散歩」

- ・開催期間 11月24日から12月25日まで

・イベント内容

勝海舟記念館や洗足池・洗足流れなど調布エリアの魅力ある文化ならびに自然観光資源の認知度向上及び地域店舗を中心とした区内経済の活性化を目的として東急蒲田駅発池上線沿線や大岡山駅周辺の『ラーメン店』を活用したイベントを実施しました。特典付きのスタンプラリー形式により地域の回遊性向上を図り、区内外からの誘客へ寄与することができました。

- ・協力店舗数 15 店舗
- ・参加者数 延べ 254 人

(5) 観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作

令和 5 年度予算額	：	841 千円	令和 4 年度決算額	：	2,085 千円
------------	---	--------	------------	---	----------

【事業概要】

区の認知度向上及び誘客を目的として、展示物・ノベルティの制作やイベント等の出展を行い、内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和 4 年度実績】

イベントなどで配布するノベルティとして大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」のクリアファイル、ステッカーなどを製作しました。

また大田区観光情報センターで使用するイベントパネルや装飾物を製作しました。



(6) 「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業

令和 5 年度予算額	：	1,000 千円	令和 4 年度決算額	：	814 千円
------------	---	----------	------------	---	--------

【事業概要】

大田区は、平成 29 年 3 月に「国際都市おおた」を宣言し、「未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、「観光の魅力」「多文化共生の大切さ」「産業の力強さ」を結集し、「地域の力」を活かして推進しています。

羽田空港「空の日」記念行事と連携することで、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールするとともに、来場した区民の皆様が「世界とつながるおおた」を体感し、大田区への誇り・愛着をいただけるよう取り組みます。

【対象者】

- ・区内外からの来訪者、訪日外国人

【令和4年度実績】

新型コロナウイルス感染症拡大以降、3年ぶりに羽田空港「空の日」フェスティバル2022が開催されました。羽田空港第1・第2・第3旅客ターミナルビルの他、羽田イノベーションシティも会場となり、総勢22,500人が来場しました（内羽田イノベーションシティには、6,300人来場）。



(7) 大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」の活用					
令和5年度予算額	:	2,730 千円	令和4年度決算額	:	1,705 千円

【事業概要】

大田区の魅力を区内外に発信し、シティプロモーションを推進するとともに、区民のわがまちへの愛着を高めることを目的として、大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」を積極的に活用します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和4年度実績】

- ・Twitter フォロワー数：6,611 人（令和5年3月31日現在）
 - ・着ぐるみ貸出件数：105 件
 - ・着ぐるみ出張回数：15 件
 - ・デザイン使用申請件数：569 件
 - ・グッズ販売場所：24 か所
 - ・「はねびよんさんぽ」YouTube 動画配信：1 件（12 月 ホテル）
- 総再生回数：1,702 回



観光情報センター等の運営		観光振興事業			
令和5年度予算額	:	53,621 千円	令和4年度決算額	:	54,451 千円

(1) 大田区観光情報センターの運営					
令和5年度予算額	:	51,794 千円	令和4年度決算額	:	52,854 千円

【事業概要】

京急蒲田駅直結の商業施設内にある大田区観光情報センターは、国内外からの旅行者をはじめとした区内への来訪者誘客及び観光情報の発信を目的として、「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。現在はマイクロツーリズム推進の下、来訪者に対し、区内の様々な場所を案内することで、回遊性の向上を図るとともに、区内の多種多様な物品やお土産等の展示・販売を通じ区民ならびに近隣諸都市の皆様にも大田区の魅力を再発見していただいています。

- ・名称：大田区観光情報センター
- ・住所：大田区蒲田四丁目 50 番 11 号 ウィングキッチン京急蒲田M2F
- ・営業時間：9：00～21：00（年中無休）
- ・電話：03-6424-7288
- ・URL：<https://tokyoactivity.com/ja/>
- ・開設日：平成 27 年 12 月 11 日（金）
- ・サービス内容：
 - ア 多言語による大田区の観光案内
 - イ 展示・物販を通じた大田区の観光・食・技術の PR
 - ウ 着付け、折り紙体験等の日本文化体験（無料）の実施
 - エ イベント等を通じた区民と来訪者の来館促進

※日本政府観光局（JNTO）認定外国人観光案内所《カテゴリー2》

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和 4 年度実績】

- ・来場者数 72,427 人（うち外国人 1,483 人）
- ・観光相談件数 2,176 件（うち外国人 678 件）
- ・文化体験利用者数 36 人（外国人の入国者数の上限撤廃及び利用者からの需要が増加したため令和 5 年 2 月より無料体験を再開）
- ・物販売上実績 17,399,545 円
- ・実施企画：企画展・イベント等 18 回

年度を通して、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限がなく前年度までと比較して来館者数が回復しました。

具体的な取り組みとしては区内店舗の商品を月替わりで紹介するイベントの開催や大田区の友好都市の特産品の期間限定販売などを行い区内外から多くの方に来館いただきました。

また、羽田イノベーションシティで開催された「羽田スマートシティ EXPO」「空の日フェスティバル」への出店、民間企業との協同事業や浴場連合会主催のイベントへ協力するなど庁内外を問わず積極的な連携を行い、区内の産品販売や観光情報の発信に注力しました。

（2）羽田空港第 3 ターミナル大田区観光情報コーナーの運営

令和 5 年度予算額	：	1,826 千円	令和 4 年度決算額	：	1,597 千円
------------	---	----------	------------	---	----------

【事業概要】

パンフレットの配架、ポスター掲出、観光関連の展示を通じて、大田区への誘客を図ることを目的に、羽田空港第 3 ターミナル国際線到着ロビー（2 階）に大田区の観光情報コーナーを設置しています。

【対象者】

- ・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和 4 年度実績】

- （1）羽田空港第 3 ターミナル大田区観光情報コーナー

パンフレットの配架及びポスター掲出、観光関連の展示を通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上に努めました。

(2) 池上駅大田区観光情報コーナー

令和3年3月から設置。パンフレットの配架、イラストマップの展示、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上ならびに誘客を図りました。

(3) 新井宿特別出張所観光情報コーナー

平成26年度から設置。パンフレットの配架、展示等で観光情報を発信。

大田区観光推進協議会の運営	
令和5年度予算額	： ー
令和4年度決算額	： 0千円

【事業概要】

区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とし、情報交換等を行っています。会員間の連携を強化するとともに、大田区の観光魅力の創出や誘客、回遊促進の検討を行います。

【対象者】

- ・区内観光関連事業者、関係機関

【令和4年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議体の開催は中止。
- ・令和4年度大田区観光推進事業について書面で委員へ報告。

大田区における撮影支援・協力（予算計上なし）	観光振興事業
-------------------------------	---------------

【事業概要】

大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行っています。これまでも東宝映画「シン・ゴジラ」、TBS テレビドラマ「集団左遷」や「下町ロケット」、WOWOW オリジナルドラマ「TOKYO VICE」等での撮影支援を行ってきました。今後も制作会社等への協力をを行うとともに、東京ロケーションボックスほかと連携し、大田区の露出を増やし、魅力度向上に努めていきます。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和4年度実績】

(1) 撮影支援・協力

- ・WOWOW オリジナルドラマ「TOKYO VICE シーズン2」（大田区立消費者生活センター）
- ・NETFLIX オリジナルドラマ「闇金サイハラさん」（大田区立消費者生活センター）

(2) 情報提供・ロケーション紹介

- ・テレビCM
- ・有名ミュージシャン YouTube チャンネル撮影
- ・NETFLIX ドラマ撮影
- ・テレビ東京ドラマ撮影 等

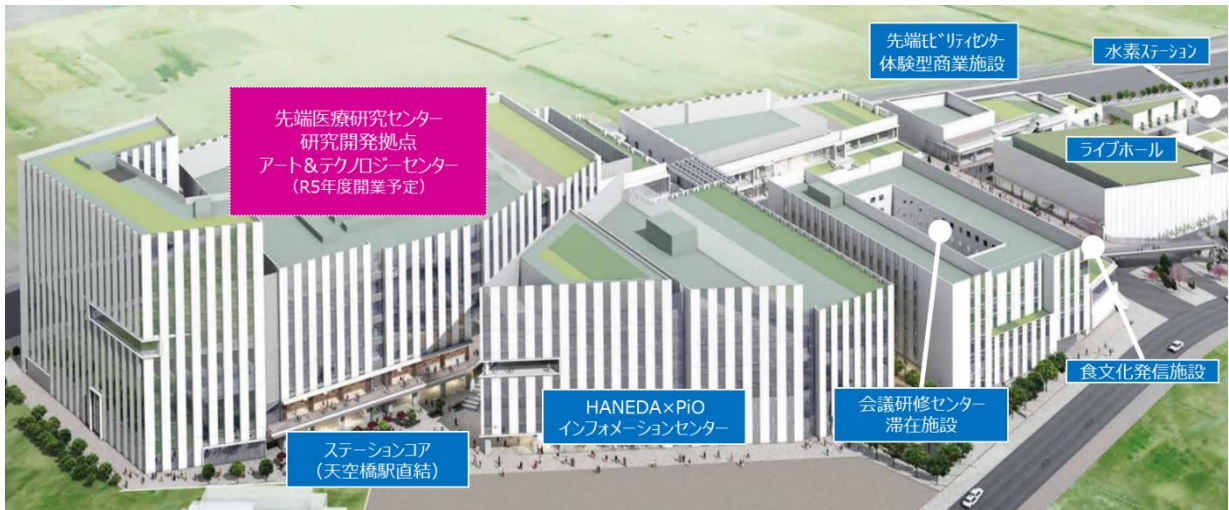
(3) ロケ相談

- ・28件

(6) 産業振興担当（イノベーション）（電話番号：03-5744-1641）

※組織改正により新設。

HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）第1ゾーンにおいて、区内産業の活性化及び日本全体の経済成長に寄与するまちづくりを目指し、平成27年7月に、「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」を策定しました。国内外のヒト・モノ・情報を呼び込み、産業交流に資する機能を集積させ、公民連携により「新産業創造・発信拠点」の形成を目指すべく、同ゾーン内の第一期事業用地の開発に係る事業契約を羽田みらい開発株式会社（特別目的会社）と交わし、令和2年7月、「羽田イノベーションシティ」をまち開きしました。本年11月にはグランドオープンを迎え、先端医療研究センターや文化発信機能など新たな機能が段階的に加わります。



羽田イノベーションシティにおける公民連携の推進		新産業創造・発信拠点の形成	
令和5年度予算額	： 14,040千円	令和4年度決算額	： 17,920千円

※空港まちづくり本部空港まちづくり課から移管。

(1) 空港跡地関連業務委託（第一期事業に係るモニタリング業務）等			
令和5年度予算額	： 14,040千円	令和4年度決算額	： 17,920千円

【事業概要】

専門的な知見を有する事業者の支援のもと、羽田イノベーションシティの運営事業者による事業実施状況を確認するとともに、事業成果の評価・分析に基づく課題抽出と対応策の提示を行うことで、公民連携による政策目的の実現を図ります。

【令和4年度実績】

事業全体の成果指標を「経済波及の創出」「人の流れの創出」「認知度・満足度」としています。「経済波及の創出」では、独自の産業連関表に基づく経済波及効果額を算出したほか、体感的な波及効果を把握するため、区内経済団体にヒアリングを実施しました。また、「人の流れの創出」では、携帯電話の位置情報データの活用により区内回遊の状況などを分析しました。これらの分析結果などを踏まえ、モニタリング報告書を作成し、運営事業者に対して事業の充実・強化に向けた提言を行いました。

羽田空港跡地における産業交流拠点の形成		新産業創造・発信拠点の形成	
令和5年度予算額	： 382,862千円	令和4年度決算額	： 392,331千円

(1) 空港跡地関連業務委託等			
令和5年度予算額	： 376,362千円	令和4年度決算額	： 374,709千円

【事業概要】

整備方針において、公民連携により世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成し、産業交流施設に先端産業分野の企業誘致や起業・ベンチャー支援、協創プロジェクトの推進などの機能を位置付けました。

令和2年7月、羽田イノベーション内に区が開業した産業交流施設「HANEDA×PiO (ハネダピオ)」にて、多様な交流機会を創出する取組みを進めています。

【令和4年度実績】

「HANEDA×PiO (ハネダピオ)」の交流空間「PiO PARK (ピオパーク)」では、新産業を創造し、発信する場となることを目的に、管理者である（公財）大田区産業振興協会と連携しイベントの実施や利用者の誘致等を進めました。

テナントゾーンにおいては、入居テナント間の交流会開催等を通じた相互交流や区内企業との連携創出に関する取組みを実施しました。

(2) HANEDA×PiO を HUB とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向けたモデル事業実装委託			
令和5年度予算額	： 6,500千円	令和4年度決算額	： 17,622千円

【事業概要】

PiO PARK (交流空間) の利用拡大及び同空間を HUB とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向け、PiO PARK の PR と事業誘致等を行う PiO PARK アンバサダーを中心に、良質で広範なネットワーク形成及びイベント実施・誘致等を推進します。

【令和4年度実績】

潜在的な利用者の発掘に繋げていく取組みとして、医療関連団体や人材を対象としたイベント実施(2回)やネットワーク形成のための事業のほか、8名の PiO PARK アンバサダーによる情報発信やイベント実施(12回)を通じた利用者誘致・企業間連携創出事業等、3件のモデル事業を実施しました。また、当該事業のプロモーション事業を実施し、同空間の認知度向上・ブランディングによって、新たな集客を図りました。



(7) 融資係（電話番号：03-3733-6185）

区内の中小企業者が経営の安定や改善、設備の向上等のために必要な資金を低利で利用できる各種融資を金融機関へあっせんしています。

また、日本政策金融公庫や商工会議所等と連携して資金調達の多様化を図り中小企業者の事業経営を資金面から支えることで、区内産業の活性化・競争力強化につなげていきます。

中小企業融資		資金調達の支援	
令和5年度予算額	： 1,739,764 千円	令和4年度決算額	： 1,710,496 千円

(1) 中小企業融資あっせん制度			
令和5年度予算額	： 1,721,537 千円	令和4年度決算額	： 1,700,836 千円

【事業概要】

経営改善や設備の向上等に必要事業資金の低利融資を金融機関にあっせんし、支払利子等を補助します（区が直接融資する制度ではありません。金融機関等の審査によっては融資が受けられない場合があります）。

主な資金	融資限度額	返済期間	名目利率	利子補給率	本人負担率
一般運転資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
利子補給加算(※1)				1.6%	0.2%以下
一般設備資金	3,000 万円	108 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
開業資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.4%	0.4%以下
商店街空き店舗活用				全額	なし
ものづくり事業					
経営改善一本化資金	2,500 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
経営強化資金	1,000 万円	84 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
小規模企業 特別事業資金	300 万円	60 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
チャレンジ企業 応援資金	5,000 万円	108 か月以内	1.5%以下	全額	なし
SDGs・脱炭素推進 企業支援資金(※2)	1,000 万円	60 か月以内	1.8%以下	1.7%	0.1%以下

※1 令和3年9月1日から申込受付開始。申込受付締切は令和4年3月31日から当面の間延長。

※2 令和5年度に「温暖化対策推進企業支援資金」から名称変更し、限度額を500万円から1,000万円に拡充。

- 金利は令和5年4月1日現在。すべて固定金利。
- 区があっせん制度と都の融資制度の要件を満たす方は、区の利子補給と都の信用保証料補助を併用できる場合があります。

【対象者】

区内の中小企業者、区内での開業予定者（※その他一定の要件を満たすことが必要）

【令和4年度実績】

あっせん件数：2,856件、あっせん金額：264億5,115万円

（上記のうち、一般運転資金（利子補給加算）1,728件、173億1,890万円）

（2）小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給制度					
令和5年度予算額	：	7,398千円	令和4年度決算額	：	3,033千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」の利用者を対象に、貸付日から3年間に支払った利子の40%相当額（令和2年4月交付決定分から）を補助します。

【対象者】

東京商工会議所大田支部の推薦を受け、株式会社日本政策金融公庫大森支店から「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和4年度実績】

利子補給件数：275件、利子補給額：3,033千円

（3）新創業融資資金利子補給制度					
令和5年度予算額	：	7,703千円	令和4年度決算額	：	6,468千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「新創業融資制度」の利用者を対象に、貸付月から最大3年間に支払った利子の50%相当額を補助します。

【対象者】

株式会社日本政策金融公庫大森支店から「新創業融資制度」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和4年度実績】

利子補給件数：202件、利子補給額：6,468千円

（4）事業承継資金利子補給制度					
令和5年度予算額	：	3,126千円	令和4年度決算額	：	159千円

【事業概要】

株式会社日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「事業承継・集約・活性化支援資金」の利用者を対象に、貸付月から最大3年間に支払った利子の50%相当額を補助します。

【対象者】

株式会社日本政策金融公庫大森支店から「事業承継・集約・活性化支援資金」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和4年度実績】

利子補給件数：4件、利子補給額：159千円

第6 公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業

※記載している事業は「主な事業」です。

※社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。

※記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

※各事業枠内の予算・決算額のうち、(補)は区補助金を充当した額を示しています。また、(委)は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。(利)は利用料金制度により利用料収入を財源として実施した事業です。

1 総務部

(1) 総務人事セクション（電話番号：03-3733-6466）

職員の人事服務等協会の運営に必要な事務全般、並びに企画立案、進捗管理及びその調整と改善を行い、職員力と組織力の強化に取り組みます。

(2) 財務経理セクション（電話番号：03-3733-6466）

協会内の財産管理をはじめ、予算及び決算等財務会計全般について担当し、適切な金銭管理を行います。

2 地域産業活性化部

(1) 情報化・Pi0 フロントセクション

① 情報化推進（電話番号：03-3733-6404）

情報化推進、情報セキュリティ、協会のITインフラの調達・情報共有化等の事業運営のサポートを行います。

大田ものづくりプラットフォームデータベース構築事業	取引拡大
令和5年度予算額：2,376千円（補）2,376千円	
令和4年度決算額：16,632千円（補）16,632千円	

【事業概要】

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、テスト運用を開始しました。引き続きデータベースの拡充を行っていきます。

② Pi0 フロント（電話番号：03-3733-6144）

大田区産業プラザ1階入口の経営相談窓口「Pi0 フロント」で創業や経営に必要な情報の提供、専門的な助言を行います。

中小企業情報化支援	創業・相談事業・コンサルティング
令和5年度予算額：5,791千円（補）3,112千円	
令和4年度決算額：3,872千円（補）2,232千円	

【事業概要】

区内中小企業が自社（製品・商品・技術・サービス）を効果的にPRできるよう、デザインを専門とする相談員によるホームページをはじめとしたPRツールの作成支援に加え、自社の強みを見出す助言を行います。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

ホームページ・PRツール作成支援サービス「Pi0 デザイン工房」

利用回数 延べ 197 回 新規利用者数 21 社

ビジネスサポートサービス	創業・相談事業・コンサルティング
令和5年度予算額：11,980千円（補）11,980千円	
令和4年度決算額：10,417千円（補）10,417千円	

【事業概要】

経営や技術等の課題を抱える企業、個人事業主が専門家の助言を通して解決や成長の一助とします。

ア ビジネスサポート相談

経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知財の活用、事業承継などに取組む区内中小企業等に対し、各分野の専門家を派遣します。

イ 各種許認可等取得支援助成金（令和4年度まで）

環境配慮型経営や国際競争力向上、新分野進出に必要な許認可取得を支援するための経費の一部助成。

ウ 経営相談窓口「Pi0 フロント」

大田区産業プラザの来館者の相談に対しワンストップで、必要な情報の提供、専門的な助言を行います。さらに、国や都等の支援機関窓口への橋渡しを行うことで、区内中小企業の経営基盤の強化につなげるとともに、産業プラザ全体の窓口機能を併せもつことで利便性を向上させます。

（Pi0 フロントショーケーシング）

創業相談やビジネスサポートサービス等を利用している方が、自身の事業の魅力をもPRできる場とすることを目的に、Pi0 フロントショーケーシングを設置しています（令和4年7月開始）。

エ 大田区デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」

区内中小企業がデジタル化に必要な「人材」、「知見」などを補うためのデジタル支援プラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」を運営し、利用者間の交流支援や、個別ニーズへのきめ細かなサポートを行い、企業経営の高度化及び取引拡大につなげます。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

ア ビジネスサポート相談： 支援協力者登録数 116 人、専門家派遣回数 延べ 597 回

イ ビジネスサポートセミナーの実施

・経営サポートセミナー（オンライン）

「SNS時代に生きる町工場の新しい顧客開拓」 令和4年9月2日実施、参加者 162人

・創業者交流会

令和5年1月16日実施 参加者 10人

ウ 各種許認可等取得支援助成金の交付

助成金交付企業数 6社（6件）

エコアクション 21（1件）、医療機器製造業登録（2件）、プライバシーマーク（2件）、ISO27001（1件）

エ 経営相談窓口「Pi0フロント」

・Pi0フロントにおける相談等の利用者数 延べ3,291人

・Pi0フロントショーケーシング 展示点数延べ42点

オ 大田区デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」

・登録者 1,309人

・コンテンツ発信件数（イベント、マガジンページ） 33件

（2）勤労・人財セクション

① 勤労者支援（電話番号：03-3733-6107）

大田区勤労者共済は、相互扶助の精神により、会員・大田区・共済会が一つになって、中小企業の勤労者福祉サービスを提供する仕組みです。慶弔見舞金の給付や各種福利厚生サービスなど、会員の皆様が安心して働けるための事業と会員のご家族も心豊かに生活を送れる事業を行っています。

【勤労者共済について】

- 加入対象：区内中小企業の事業主と従業員、区内に居住し、区外の中小企業で働く従業員
- 会費等：入会金 200円 月会費 500円
- 給付事業：出生・結婚・銀婚・金婚・入学・継続・見舞金・弔慰金等
- 福利厚生事業：宿泊補助、レジャー施設利用補助、各種チケット割引、健康維持増進事業

加入促進事業（運営費）	勤労者福祉
令和5年度予算額：13,718千円（補）5,432千円	
令和4年度決算額：9,634千円（補）4,592千円	

【事業概要】

会員募集パンフレット類の配布や加入促進員及び職員の訪問勧奨により会員数の増加を図ります。

- 勤労者共済事業の周知活動
 - ・事業紹介に関するパンフレットの配布
 - ・あき now・テクノプラザ・各団体会報誌への掲載、会報誌の発行
- 会費管理
 - ・給付状況把握及び加入促進
 - ・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知

【令和4年度実績】

会員事業所数 1,336事業所、会員数 3,966人

大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」発行（年10回）

福利厚生事業	勤労者福祉
令和5年度予算額：35,984千円	
令和4年度決算額：42,595千円	

【事業概要】

- 健康維持増進に関する事業（人間ドック、インフルエンザ予防接種受診補助、公衆浴場、スポーツセンター・区営プール利用補助）
- 宿泊施設の利用（ライフサポート倶楽部宿泊補助）
- 契約施設等の利用（レジャー施設利用補助、区内指定店、デパート割引）
- 各種チケットの割引（映画・スポーツ観戦・観劇チケット・食事券等の割引）

【令和4年度実績】

各事業において発券・補助・割引斡旋した件数 24,111 件

給付事業	勤労者福祉
令和5年度予算額：7,775千円	
令和4年度決算額：6,137千円	

【事業概要】

- 「祝金」（結婚・銀婚・金婚、20歳、出生）、「見舞金」（入院、障害、住宅火災）「弔慰金（会員・家族死亡）の給付
- 「祝品」（入学・継続）の贈呈

【令和4年度実績】

祝金・入学・継続祝品・見舞金・弔慰金 給付合計件数 796 件

② 人財育成・確保（電話番号：03-3733-6109）

区内中小企業の人材確保のため、求人ウェブサイトの運営や合同企業説明会を行っています。また、区内中小企業の技術力の高度化を図るため、都立産業技術高等専門学校と連携し人材育成を行っています。

おしごとナビ大田区	人材育成・確保
令和5年度予算額：2,024千円（補）183千円	
令和4年度決算額：1,833千円（補）△59千円	

【事業概要】

インターネット上で、区内中小企業の求人情報と企業PRを行う場を提供し、掲載企業の求人活動を支援します。

【対象者】

区内中小企業・関東圏の大学・短大・専門学校・城南地域の高校・一般求職者

【令和4年度実績】

求人広告掲載企業：125社
新規登録企業件数：32件

中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	人材育成・確保
令和5年度予算額： 999千円 (補) 899千円	
令和4年度決算額： 774千円 (補) 724千円	

【事業概要】

ア 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校の教員と連携し、学校施設を活用して、区内中小企業の新人向け基礎講座を実施し、人材育成を行います(品川区との連携事業)。学校施設を活用した講座の他に、教員が企業へ出張する出前講座を実施します。

イ おおた少年少女発明クラブの支援

小学生のものづくりへの関心を高めるため、ものづくり教室の開催・運営を助成します。

【対象者】

ア 区内中小企業

イ 区内在住小学4～6年生

【令和4年度実績】

ア 都立産業技術高等専門学校との連携

受講者数：51人(基礎講座：39人、出前講座：12人)

イ クラブ参加人数：25人、活動期間：令和4年4月～令和5年3月まで

定期活動：20日 臨時活動：6日

若者と中小企業とのマッチング事業	人材育成・確保
令和5年度予算額：2,262千円 (補) 2,262千円	
令和4年度決算額：2,469千円 (補) 2,469千円	

【事業概要】

大学等の教育機関と連携し、オンライン上または対面による合同企業説明会を開催し、若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行います。

【対象者】

区内中小企業及び就職活動中の大学生

【令和4年度実績】

ア オンライン合同企業説明会

	参加企業数	参加大学等	参加者	成果
第1回	12社	11校	25人	採用1名
第2回	20社	9校	13人	採用1名

※選考は、本合同企業説明会後に、個別に企業で実施。

(3) MICE・施設セクション

① コワーキング(電話番号：03-3733-6401)

産業プラザ2階のコワーキングスペースを運営し、新しい働き方や創業など多様な目的で利用いただける場所を提供しています。

② MICE 推進（電話番号：03-3733-6477）

大田区の産業振興の拠点である産業プラザにおける、貸館の管理代行、産業プラザ・東京都城南地域中小企業振興センターの施設維持に関する管理及び産業プラザにおける MICE を推進し、ビジネス・イノベーションの機会の創出、地域への経済効果、区のプレゼンス向上に寄与していきます。

産業プラザ施設維持の管理運営	産業プラザの管理運営
令和 5 年度予算額：（委） 53,267 千円	
令和 4 年度決算額：（委） 57,813 千円	

【事業概要】

大田区と東京都で共同所有する大田区産業プラザ及び東京都城南地域中小企業振興センターの施設維持に関する業務を区から受託することにより、貸館部分の管理代行と併せて一層効率的な業務運営を行います。

施設の維持管理業務（設備管理、警備及び清掃等）は区が発注し、（公財）大田区産業振興協会がこれらの業務の管理監督を行っています。

【令和 4 年度実績】

維持補修工事 30,739,071 円（67 件）等

産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	産業プラザの管理運営
令和 5 年度予算額：（利） 254,491 千円	
令和 4 年度決算額：（利） 123,754 千円	

【事業概要】

大田区産業プラザの貸館部分の管理運営を区の指定管理者として受託しています。①HANEDA×PiO と一体的に管理運営することで、区内産業の拠点としての価値を高めること、②利便性向上により顧客満足度を高め、地域に安全・安心を提供する施設を目指すこと、③MICE 活動を推進し区内産業活性化の一大拠点となる施設を目指すことを基本方針とし、利用料金制度の利点を活かして、サービスの質と集客力を高め管理代行を行います。

※MICE とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【対象者】

区内中小企業、区民その他一般

【令和 4 年度実績】

《利用 率》ホール系：78.6%、会議室系：69.0%（年間平均）

※大展示ホールは特定天井改修工事のため 4 月～6 月のみ稼働

《利用者数》 349,045 人

《利用料金収入》 119,736,475 円

（うち、駐車場利用料：5,906,200 円、コワーキング施設利用料：3,424,750 円）

《利用料金支出》 123,754,251 円

《区からの補填》 98,138,769 円（納付免除 94,120,993 円を含む）

※①令和4年4月1日から6月30日まで、新型コロナウイルスワクチン接種会場として大展示ホールが指定されました。

②令和4年7月1日から令和5年3月31日まで、大展示ホールは区による特定天井改修工事のため利用を停止しました。

施設貸与に伴う付加サービス事業	産業プラザの管理運営
令和5年度予算額：4,727千円	
令和4年度決算額：2,400千円	

【事業概要】

条例で定められた管理代行業務のほか、自主事業として産業プラザ貸館利用者に対してより付加価値の高いサービスを提供し、利用満足度向上とともに利用促進を図ります。

【対象者】

産業プラザ貸館利用者

【令和4年度実績】

- ・看板作成料収入：1,158,300円
- ・Pi0 倶楽部掲載料収入：586,300円（42社掲載）
- ・周辺マップ掲載料収入：181,500円（33店舗掲載）等

3 商いサービス部

(1) プロモーションセクション（電話番号：03-3733-6476）

区内中小企業の強みや最新の取組を、国内・海外へ向けて情報発信し、受注拡大や観光客誘致を図り、産業振興につなげます。また、区内中小企業が、区及び協会の様々なサービスを利用できるよう各種事業を紹介します。

大田区産業振興普及事業	情報提供・ネットワーク
令和5年度予算額：529千円（補）529千円	
令和4年度決算額：387千円（補）387千円	

【事業概要】

協会ホームページ、総合事業案内及び大田区工業ガイド等を活用し、広く大田区の産業をプロモーションするとともに、協会事業の周知を図ります。また、国内外からの視察対応を通じて区内産業の魅力や強みを直接アピールすることで、ビジネスチャンスの拡大を図ります。

【対象者】

区内中小企業、区民、来館者、国内外の視察・見学者

【令和4年度実績】

大田区産業PR用ノベルティの作成

産業情報誌の発行	情報提供・ネットワーク
令和5年度予算額：2,389千円（補）2,389千円	
令和4年度決算額：3,731千円（補）3,731千円	

【事業概要】

区内ものづくり中小企業へ産業や行政施策の情報を発信し、自社の事業展開等に有効活用してもらうことを目的に、令和5年度からは協会ホームページ上にビジネスコンテンツ「テクノプラザ」をアップしていく。加えて、同コンテンツをまとめた冊子版を年2回発行する。

【対象者】

区内ものづくり中小企業

【令和4年度実績】

「テクノプラザ」 奇数月15日に4,200部発行し、事業者配布

産業情報受発信事業	情報提供・ネットワーク
令和5年度予算額：4,447千円 (補) 4,147千円	
令和4年度決算額：4,187千円 (補) 3,977千円	

【事業概要】

区内外の産業情報を広く収集するとともに、適切な媒体を用いてタイムリーに提供します。特に、協会ホームページでは、産業施策、協会、区等の施策の案内を中心に、企業成長や経営革新・勤労者に有用な最新の情報を切れ目なく発信します。

【対象者】

区内中小企業及び勤労者

【令和4年度実績】

協会ホームページ：年間アクセス件数 713,998件
年間閲覧ページ数（ページビュー）3,314,515件

工場表彰制度	表彰事業
令和5年度予算額：4,085千円 (補) 3,985千円	
令和4年度決算額：3,057千円 (補) 3,057千円	

【事業概要】

人に優しい(働きがいのある労働環境)、まちに優しい(周辺環境との調和)、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定(期間5年)するとともに、その中でも特に優秀な工場を表彰することにより、ものづくりに従事する人のやりがい、生きがいを引きだし、併せて区内中小企業の優秀性を内外にPRし、大田区工業の振興を図ります。

【対象者】

区内で操業中の工場(要工場認可)

【実績】 認定期間 5年

年度	認定工場数等
令和4年度	10工場 (内、表彰 3工場)
令和3年度	8工場 (内、表彰 4工場)
令和2年度	5工場 (内、表彰 3工場)
令和元年度	10工場 (内、表彰 4工場)
平成30年度	9工場 (内、表彰 3工場)

大田のお土産 100 選 表彰事業	表彰事業
令和 5 年度予算額： 165 千円 (補) 165 千円	
令和 4 年度決算額： 237 千円 (補) 237 千円	

【事業概要】

「大田のお土産 100 選」を観光情報コーナーや各種展示会等を通じて国内・外に広く PR することで、地域経済の活性化と賑わいの創出につなげます。

【令和 4 年度実績】

- ① 羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce (クレアディスケ) で「大田のお土産 100 選」常設販売、ものづくり事業者 24 社の製品を販売
- ② B. LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 8 事業者
令和 4 年 4 月 16 日・17 日
- ③ 東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」出展販売 8 事業者 納品販売 4 事業者
令和 4 年 9 月 17 日～19 日
- ④ B. LEAGE アースフレンズ東京 Z「カマタイチバ」納品販売 3 事業者
令和 4 年 10 月 1 日・2 日
- ⑤ OTA ふれあいフェスタ 出展 5 事業者
令和 4 年 11 月 5 日・6 日

商店（飲食店）表彰制度	表彰事業
令和 5 年度予算額： 165 千円 (補) 165 千円	
令和 4 年度決算額： 1,761 千円 (補) 1,761 千円	

【事業概要】

区内の特色ある優良な飲食店を「OTA!いちおしグルメ」として表彰し、店舗の魅力について区内・外に幅広くウェブサイトなどで PR します。

【対象者】

区内の飲食店

【令和 4 年度実績】

最新の店舗情報を更新した総合版いちおしグルメパンフレットを 15,000 部増刷、配布。

(2) 商いサービスセクション（電話番号：03-3733-6476）

区内商業・サービス業事業者（個店）の経営力・商品力を高め、魅力ある店舗づくりのお手伝いをするとともに取引・販売機会の場を設け、商業・サービス業の活性化を推進します。

おおた商い・観光展「アキナイ・クロス事業」	商店街・商い・サービス業
令和 5 年度予算額： 2,598 千円 (補) 2,383 千円	
令和 4 年度決算額： 9,871 千円 (補) 9,211 千円	

【事業概要】

令和 4 年度のおおた商い・観光展は、「大田区の街全体」を一つの会場に見立てて、参加者に直接お店や観光地を訪れてもらう企画で実施しました。令和 5 年度からは「アキナイ・クロス事業」と

名称を改め、乗降客、通常往来数の多い蒲田駅、大森駅の施設に会場を設け、蒲田駅会場には大森・調布地区の事業者を集め、大森駅会場では蒲田・調布地区の事業者を集めて商品の販売・PRを行います。事業者の商圏外の新規顧客獲得と大田区の魅力再発見に結び付けていきます。

【対象者】

出展者：区内の中小企業者及び個人事業者

【令和4年度実績】

会 期：令和4年11月3日～12月4日

参加事業者数：174事業者（153社・団体、観光施設21ヶ所）、

公式HPアクセス数：63,479

連 携 企 画：・「はねびょん健康ポイント」デジタルスタンプスポットの設置（健康づくり課・日本工学院専門学校）

・レトロスタンプラリー（(一社)大田観光協会）

・区内銭湯無料入浴体験券の配布（大田浴場連合会）

商い・サービス産業取引相談	取引拡大
令和5年度予算額：4,744千円（補）4,684千円	
令和4年度決算額：8,403千円（補）6,969千円	

【事業概要】

区内商業・サービス業事業者の取引促進のため、専門相談員による事業者の訪問調査・相談を行うとともに、各種サポートや商談機会を提供します。

ア 専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商業・サービス業事業者への訪問調査・相談

イ フード展示商談会

主に区内食品事業者に対し、バイヤーへ自社商品を売り込む商談会を開催します。

ウ 商品磨き上げ事業

更なる成長が期待できる商品・事業者をスカウト選出し、現役のバイヤー等による個別のアドバイスを行い事業者の成長を促します。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和4年度実績】

ア 専門相談員による区内商い関連事業者への訪問件数 延べ437件

イ 商業展示会への共同出展

・展示会名：東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022 LIFE×DESIGN

令和4年9月7日～9日、東京ビッグサイト

参加企業8社、商談件数172件

・展示会名：スーパーマーケット・トレードショー2023

令和5年2月15日～17日、幕張メッセ

参加企業4社、商談件数178件

ウ フード展示商談会

・商談会事前セミナー 令和4年9月27日 参加者12人

- ・第6回フード展示商談会 in 大田
令和4年10月31日 大田区産業プラザ コンベンションホール
- ① 出展者（売り手側）19社（区内17社、区外2社）
- ② 来場者（買い手側）55人（区内15人、区外40人）
- 商談創出件数：65件
- エ 商業者向けセミナー
テーマ「アフターコロナにおける経営のヒント」
令和5年3月17日～31日オンライン配信で実施、参加者23人

繁盛店創出事業	商店街・商い・サービス業
令和5年度予算額：23,717千円（補）23,717千円	
令和4年度決算額：13,309千円（補）13,309千円	

【事業概要】

- ア 繁盛店創出事業（個店診断・改善費用助成）
区内商業・サービス業店（個店）に、経営指導や店舗デザイン等の専門員を派遣し、店舗診断を行います。専門員の提案に基づいて店舗の内外装飾、宣伝広告等の改善実施をする場合は、その費用の一部を助成します。
- イ デジタルを活用した情報発信
情報誌「あき now」をLINE公式アカウントを活用した「商いPi0」に変更し、サービスの向上を図ります。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和4年度実績】

- ア 個店診断・改善費用助成
店舗診断件数：50件、店舗改善等費用助成件数：20件
- イ 商業版産業情報誌「あき now」の発行
発行回数：2回、発行部数：各8,000部

4 経営支援部

(1) ものづくり取引セクション（電話番号：03-3733-6126）

区内中小企業の受注拡大、新市場開拓、ビジネスチャンス獲得に向け全力でサポートします。ものづくり産業をはじめ大田区の特徴・魅力を持つ区内中小企業に対して、受・発注相談や、Meet New Solution in OTA等、協会の自主展示会、各種商談会を実施するほか、国内の見本市への出展を支援します。これらの機会を通じて、区内中小企業の取引拡大を図るほか、大田区への創業者を誘致するため、専門家による相談を実施します。

創業者支援事業（67頁及び72頁にも一部事業説明あり） （創業相談窓口の設置）	創業・相談事業・コンサルティング
令和5年度予算額：9,251千円（補）9,251千円	
令和4年度決算額：8,465千円（補）8,465千円	

【事業概要】

創業相談窓口を設置し、新規創業者の発掘・育成と、創業間もない方に対する創業期の負担軽減など、創業相談員が様々な課題の解決に向けて助言・指導します。

【対象者】

区内で創業を検討される方及び創業間もない方

【令和4年度実績】

相談件数：延べ 805 回

受・発注相談	取引拡大
令和5年度予算額：29,721千円（補）29,231千円	
令和4年度決算額：23,157千円（補）22,719千円	

【事業概要】

区内中小企業の取引の機会を拡大するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応できる専門スタッフ（技術連携相談員）を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供します。

ア 相談業務

技術連携相談員による受注・発注のあっせん相談及び区内中小企業の操業状況や、要望を把握・確認するための巡回訪問を行います。

イ 発注開拓

職員、技術連携相談員が中堅・大手メーカーの開発部門等への営業訪問を行い、発注案件の開拓を行います。

ウ 受・発注商談会

区内外のものづくり企業が一堂に会する商談、技術提携及び情報交換の場を設けます。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】**ア 相談業務**

成立件数 105 件、成立金額 53,497 千円、相談件数：受注 18 件・発注 788 件、巡回件数 1,000 件（ものづくり連携コーディネーター695 件、外部委託 305 件）

イ 発注開拓

職員、技術連携相談員による主に区外の中堅・大手企業への発注開拓訪問先 60 件、成約案件 19 件、成約金額 25,808 千円

ウ 受・発注商談会（第 61 回ものづくり受発注商談会 in 大田）

令和5年2月10日、参加企業 156 社（発注 54 社、受注 102 社）、商談件数 354 件

エ 愛媛企業×大田区企業モノづくり受発注商談会 令和5年3月6日、参加企業数 24 社、商談件数 44 件

※当商談会は、区内企業と愛媛県企業双方のものづくり企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めることを目的として行いました。

大田区加工技術展示商談会	取引拡大
令和5年度予算額：15,784千円（補）13,784千円	
令和4年度決算額：13,737千円（補）12,681千円	

【事業概要】

主に従業員10人以下の加工専門企業を対象に、各社の技術力を全国の中堅・大手企業にPRし具体的な契約成立を図るため、展示商談会を開催します（年1回）。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

大田区加工技術展示商談会2022 会場：六郷工科高等学校

令和4年7月6日開催

参加60社、来場者1,179人、商談件数741件、取引成立金額6,678千円

国内見本市への出展支援	取引拡大
令和5年度予算額：21,548千円（補）16,224千円	
令和4年度決算額：11,258千円（補）8,794千円	

【事業概要】

区内中小企業が開発・生産した優秀な製品や技術のアピールと取引拡大を目的として、全国的な展示会に共同出展するための支援を行います。

ア ものづくり産業PR展示会への出展支援

イ 新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

ア 国内見本市への出展、2展示会、成約件数3件

イ 新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展企業6社、成約件数2件

Meet New Solution in OTA	取引拡大
令和5年度予算額：21,075千円（補）17,275千円	
令和4年度決算額：17,995千円（補）15,905千円	

【事業概要】

社会的課題を解決する画期的な技術・サービス・製品を体感するとともに、出展者・来場者の「出会い」から、イノベーションを起こす全く新しいイベント(展示会)です。

【出展対象者】

区内中小企業他

【令和4年度実績】

Meet New Solution in OTA ～NEXT おおた工業フェア 会場：東京ビックサイト

令和5年2月1日～3日（リアル）

令和5年3月17日～31日（オンライン）

参加事業者数：23社・団体 リアル来場者数：40,170人 オンライン登録者数：3,527人

+WORK（内職あっせん・相談）事業	その他の業種
令和5年度予算額：4,574千円（補）4,574千円	
令和4年度決算額：3,858千円（補）3,858千円	

【事業概要】

区内の求職者及び求人企業を対象として、内職のあっせん・相談を行います。

ア あっせん相談

① 常設窓口（大田区産業プラザ3階）

毎週月～金曜日実施、9:00～12:00（登録9:00～11:30）

13:00～17:00（登録13:00～16:30）

② 出張相談（ハローワーク大森1階 マザーズコーナー）

年6回（偶数月に実施、9:30～11:30）

イ 求人企業開拓 普及・啓発用印刷物（求人募集パンフレット）の作成・配布
産業情報誌に業務記事掲載、企業訪問（新規登録及び追跡調査）

【対象者】

求職者：大田区在住者 求人企業：大田区または近隣地域の企業

【令和4年度実績】

ア あっせん・相談

求職状況	求人状況		あっせん状況		採用状況	問合せ状況 (求職相談)
登録人数	事業所数	人数	事業所数	人数	人数	件数
284	128	225	219	262	180	1,331

・出張相談 6回開催

イ 求人企業開拓

・企業訪問 22社

・蒲田・大森・雪谷法人会会報誌にチラシ封入約5,500枚

・区内製造業686社投函1回

・産業情報誌「テクノプラザ」に記事掲載（年4回）

ウ 求職者向け周知活動

・大田区報に記事掲載（年5回）

・印刷物設置約2,120部（区役所、区内図書館、特別出張所、地域庁舎及び子育て支援施設、ハローワーク大森マザーズコーナー、大田文化の森など）

(2) イノベーションセクション（電話番号：03-3733-6294）

区内企業の製品・技術のイノベーションを促すため、産学連携や企業マッチング等の機会を提供するほか、次世代産業創造事業・産業クラスター形成事業及び新製品・新技術開発支援事業を実施します。また、イノベーション創出に資する情報提供として各種セミナーの開催に加え、新分野・新産業を見据えた展示会への出展等を行います。

創業者支援事業（63 頁及び 72 頁にも事業説明あり） （ユナイト助成）	創業・相談事業・コンサルティング
令和 5 年度予算額：5,132 千円 （補）5,132 千円	
令和 4 年度決算額： 687 千円 （補） 687 千円	

【事業概要】

スタートアップ企業の試作・開発に対して、区内企業への依頼・発注を条件に助成金を交付することで受注増加・販路の拡大及び技術力の向上を図るとともに、区内への立地を後押しします。

【対象者】

登記から 6 カ月以上 5 年以内の企業

【令和 4 年度実績】

助成件数 3 社 申込件数 4 社

新製品・新技術開発支援事業	技術・研究開発
令和 5 年度予算額：76,473 千円 （補）76,473 千円	
令和 4 年度決算額：72,222 千円 （補）72,222 千円	

【事業概要】

ア トライアル助成、開発ステップアップ助成、実用化製品化助成

区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図るため、試作開発に要する経費の一部を助成します。

○トライアル助成

助成限度額：100 万円、助成率：助成対象経費の 2 分の 1

○開発ステップアップ助成

助成限度額：500 万円、助成率：助成対象経費の 3 分の 2

○実用化製品化助成

助成限度額：500 万円、助成率：助成対象経費の 3 分の 2

イ 新製品・新技術コンクール

区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰します。また、受賞製品や技術について販路拡大支援等を行います。

【対象者】

ア 区内で本社または事業所を 1 年以上操業している中小企業（個人事業者を含む）

イ 区内で本社または事業所を 1 年以上操業している中小企業及び企業グループ

【令和 4 年度実績】

ア トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成：助成件数 16 社

○トライアル助成：申込件数 2 社、助成件数 1 社

○開発ステップアップ助成：申込件数 20 社、助成件数 6 社

○実用化製品化助成：申込件数 12 社、助成件数 9 社

イ 新製品・新技術コンクール

申込件数 15 件、表彰件数 9 件（最優秀賞：1 件、優秀賞：2 件、奨励賞等：6 件）

次世代産業創造・産業クラスター形成事業

技術・研究開発

令和5年度予算額：66,500千円（補）60,956千円

令和4年度決算額：51,215千円（補）46,845千円

【事業概要】

大学・公的研究機関・医療機関等との連携により、多様化・先進化する開発ニーズを捉え、区内中小企業のライフサイエンス・ヘルスケア（医療、福祉・介護、健康等）、ロボティクス、次世代モビリティ、農工連携、危機管理・防衛、航空・宇宙、IoT、AI、環境・資源・新エネルギー分野等の次世代の産業分野への参入を支援します。また、大田区を拠点とした新しい産業クラスターを創出するため、ニーズの掘り起こしやマッチングを通じて区内中小企業の共同研究・部材供給・新製品開発の取組を支援し、新たな市場開拓先として次世代の産業分野に対応します。

併せて、産業クラスター形成に向け、羽田空港跡地成長戦略拠点の事業展開に沿う大田区企業の産業クラスター形成を図り、地域産業の対応力の向上と受注の獲得に取り組みます。

ア 区内の研究開発型企業に関する情報の発信

大学等研究機関の開発ニーズと区内の研究開発型企業の技術とのマッチング促進のため、研究開発型企業を紹介するwebサイト「mirai」の運営、大田区研究開発型企業ガイド（冊子）の発行、展示会への出展、研究開発型企業向けのメルマガ配信及び大学・研究機関に対する協会事業等の情報発信を実施します。

イ 産学公相談

区内中小企業に対し、産学連携相談や大学・研究機関等とのマッチングを行い、新製品・新技術の事業化を伴走支援します。

ウ オープンイノベーションマッチング

大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行います。

エ 各種ワークショップの開催

ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、資源・レアアース^{でい}泥開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等、新技術や新分野をテーマにしたセミナーやワークショップを開催します。

オ おおた研究・開発フェア

区内中小企業と全国の大学及び区内外の研究開発型企業との出会いの場を提供し、産学・産産連携の促進や取引拡大を目指します。

カ 新産業分野の展示会への出展

次世代産業分野を中心に出席し、区内中小企業の技術力をPRするとともに、研究開発型案件を獲得します。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

ア 研究開発マッチングシステム（登録企業154社、メルマガ発信25回）、産学メルマガ配信25回、大田区研究開発型企業ガイド発行2,500部、大学や企業研究機関からのmiraiを通じた技術相談42件（協会宛21件、企業宛21件）

イ 産学交流相談 464件

- ウ 大田区産業振興協会出張展示会 大手企業（技術研究所）への出張展示会の実施（参加者数 60 人）
- エ 医工連携勉強会（1 回、52 人参加）、東北大学セミナー（1 回、15 人参加）、レアアース泥開発推進セミナー（2 回、延べ 82 人参加）、IoT・デジタル化セミナー（1 回、23 人参加）、東工大技術交流セミナー（1 回、29 人参加）意匠デザインセミナー・ワークショップ（7 回、延べ 113 人参加）
- オ おおた研究・開発フェア（令和 4 年 10 月 20 日、21 日開催）
出展者数 94 社・団体、登録者数 1,323 人、商談件数 4,819 件、特別講演 2 回、受講者数延べ 127 人
- カ 新産業分野の展示会への出展（4 展示会、相談件数 135 件）

産学連携研究開発支援事業	技術・研究開発
令和 5 年度予算額：事業廃止 令和 4 年度決算額：166 千円	

【事業概要】

産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーションラボ）の建物老朽化に伴い、同施設を区へ返還。

【令和 4 年度実績】

入居企業 1 社（令和 4 年 4 月で終了）

5 羽田 Pi0 推進部

（1）羽田 Pi0 セクション（電話番号：03-5579-7971）

Pi0 PARK（ピオパーク）の利用者に対する産業支援として、創業・経営相談や区内企業とのビジネスマッチング等を行い、利用者と区内中小企業とのハブ機能を担います。その実現に向けて、イベントの主催・招聘、コワーキング及びショーケース用スペースの提供など、Pi0 PARK の利用促進に向けたサービス、周知活動を行います。

羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	取引拡大
令和 5 年度予算額：37,437 千円（補）31,101 千円	
令和 4 年度決算額：26,513 千円（補）18,558 千円	

【事業概要】

羽田空港に隣接する地に「Pi0 PARK」を設けることで、国内外の様々な産業分野のトップランナーやスタートアップと区内企業との交流をサポートします。この交流により、新たなサプライチェーンや高度技術連携を構築し、イノベーションの創出と区内産業の更なる国際化を目指します。また、Pi0 PARK 発の情報や製品・サービスについて、OTA デジタル×Pi0 等で発信することで、新たな利用促進への好循環につなげます。

【対象者】

区内外の事業者、個人

【令和4年度実績】

イベント

- ・イベント件数 : 202 件
- ・来場者総数 : 3,149 人

コワーキング

- ・月額プラン契約件数 : 14 件
- ・時間利用 : 41 人
- ・無料体験者数 : 221 人
- ・ゲスト来訪者数 : 6,292 人
- ・視察者数 : 719 人 (海外関係機関視察者 106 名/12 件含む)
- ・総来訪者数 : 20,538 人 (イベント来訪者数含む)

ショーケーシング (企画展抜粋)

- ・「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」(令和4年2月1日～5月31日)
- ・「東京都中小企業振興公社支援企業の製品展示」(令和4年4月21日～6月3日)
- ・「きらぼしイチ押し! “きらりと光る” 大田区内企業の製品」(令和4年7月9日～8月5日)
- ・「宇宙産業で活躍する大田区企業等の技術」(令和4年9月9日～11月5日)
- ・「大田の工匠 技術・技能継承展」(令和4年11月8日～令和5年1月31日)
- ・「第34回 新製品・新技術コンクール 受賞製品・技術展」(令和5年2月21日～4月20日)

海外取引相談事業	取引拡大
令和5年度予算額 : 18,473 千円 (補) 18,433 千円	
令和4年度決算額 : 7,800 千円 (補) 7,800 千円	

【事業概要】

区内企業の海外展開を促進するため、地域に密着したワンストップ窓口として企業の個別課題に職員及び専門スタッフ (海外ビジネス相談員) が対応します。

ア 海外取引相談

貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行います。

イ 海外市場開拓

アジア (台湾、タイ、ベトナムなど) 及び欧米 (ドイツ、米国など) を中心に市場開拓を行います。また、国内においても区内企業と海外企業・機関との連携を促進します。

ウ 海外セミナー/グローバルビジネス勉強会

世界各国の市場性や投資環境、国際物流などの情報を区内中小企業に提供します。

エ 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

区内中小企業のホームページ、海外取引に使用する企業カタログ、マニュアル、契約書等の翻訳を支援し多言語化を図ります。また、区内中小企業が海外取引において必要となる取引相手先の信用調査を専門会社に委託し、調査レポートを提供することで海外取引の円滑化と拡大を支援します。

オ 英文企業ガイド Web (PROFILES OF COMPANIES in Ota City)

区内企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するための英文の企業ガイドをホームページ上で展開します (区内中小企業 72 社の情報を掲載中)。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

ア 窓口相談

・相談件数

259件（中国・台湾 145件、ASEAN20件、欧州 25件、その他 69件）

・国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

129件（中国・台湾 72件、ASEAN 10件、欧州 21件、北米 9件、その他 17件）

・区内企業への海外機関・企業からの発注案件紹介件数：18件

・国際取引あっせん件数：成約案件 6件 取引成約金額 11,212千円

イ 海外市場開拓（商談会）

・ミニ国際ビジネス商談会 with 台湾（オンライン形式）

開催日 令和4年10月14日、参加企業数 区内企業3社、台湾企業6社

商談件数 9件、継続件数 2件、成約件数 一件

ウ グローバルビジネス勉強会

勉強会：全3回開催 参加人数 延べ97人

エ 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス：12件、海外企業信用調査：6件

オ 英文企業ガイドの活用

web版の英文企業ガイド（PROFILES OF COMPANIES in Ota City）を活用し、海外見本市（オンライン）への出展や、海外企業・機関との打合せの際に区内中小企業のPRをしました。

海外見本市への出展支援	取引拡大
令和5年度予算額：10,706千円（補）9,643千円	
令和4年度決算額：1,045千円（補）1,045千円	

【事業概要】

大田区の優れた製品・技術やサービスを国際的にPRし、市場開拓につなげるため、区内中小企業との共同出展を行います。

【対象者】

区内中小企業

【令和4年度実績】

共同出展

・FBC アセアン 2022 ものづくり商談会（タイ・ベトナム）

令和4年8月24日～26日（リアル出展/協会は同行せず）

令和4年9月7日～9日（オンライン出展）

商談件数 31件、継続案件 6件、成約件数 一件

協会単独出展

・Meet Taipei 2022(台湾)

令和4年11月17日～19日（オンライン出展）

商談件数 3件、継続案件 1件、成約件数 一件

創業者支援事業（63 頁及び 67 頁にも事業説明あり）**（ワークショップ、ベンチャーピッチ）**

創業・相談事業・コンサルティング

令和 5 年度予算額：6,343 千円 （補）6,183 千円

令和 4 年度決算額：4,602 千円 （補）4,602 千円

【事業概要】

ものづくり分野での創業者を対象としたワークショップを通じて、区内での創業と定着及び事業の発展を支援します。また、優れたビジネスプランを持つ企業を広く募り、アイデアのブラッシュアップ、試作品開発支援のためのコーチングからピッチイベントを開催し、協業者とのマッチングを目指します。

【対象者】

区内で創業を検討される方及び創業間もない方

【令和 4 年度実績】

ア 創業体験ワークショップ

1 回目（創業基礎セミナー）：令和 4 年 8 月 3 日 参加者数 17 人

2 回目（事業計画書作成ワーク（1））：令和 4 年 8 月 17 日 参加者数 12 人

3 回目（事業計画書作成ワーク（2））：令和 4 年 8 月 24 日 参加者数 10 人

4 回目（成果発表）：令和 4 年 8 月 31 日 参加者数 7 人

イ スタートアップ試作支援

○創業セミナー

1 回目（経営計画）：令和 4 年 9 月 7 日 参加者数 21 人

2 回目（財 務）：令和 4 年 9 月 14 日 参加者数 19 人

3 回目（人材育成）：令和 4 年 9 月 21 日 参加者数 15 人

4 回目（販路開拓）：令和 4 年 9 月 28 日 参加者数 16 人

○ベンチャーピッチ in 羽田

申込件数：26 社・団体

コーチング・ピッチ実施：10 社・団体

全体コーチング：第 1 回 令和 4 年 12 月 7 日

第 2 回 令和 4 年 12 月 14 日

個別コーチング：令和 4 年 12 月～令和 5 年 2 月の 3 か月間、月 2 回を目安に実施

ピッチイベント：令和 5 年 2 月 17 日

※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などの投資企業に対して
プレゼンテーションを実施

第7 一般社団法人大田観光協会の事務事業

- ※ 記載している事業は「主な事業」です。
- ※ 社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
- ※ 記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。
- ※ 各事業枠内の予算・決算額のうち、(補)は区補助金を充当した額を示しています。また、(委)は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。

おたかい・観光展後継事業(アキナイ・クロス)との連携

令和5年度予算額：	700千円	(補)700千円
令和4年度決算額：	600千円	(補)600千円

【事業概要】

- ・地域との連携強化及び地域と来訪者が触れ合う機会を創出します。
- ・地域の魅力発掘により来訪者の回遊性を高め、消費行動を促します。

【対象者】

区内外一般

【令和4年度実績】

- 実施内容：蒲田～羽田エリア間でのトートバッグスタンプラリー
- ・実施期間：11月3日から12月4日
- ・行政、NPO、商店街、交通事業者、企業等、多様な団体との協働：協力団体11団体
- ・スタンプ設置箇所：9か所
- ・スタンプラリーセット：500円(税込)／販売箇所：6か所／販売数：237セット

水辺の賑わい事業

令和5年度予算額：	1,450千円	(補)1,450千円
令和4年度決算額：	1,444千円	(補)1,444千円

【事業概要】

大田区特有の地域資源である水辺(臨海部・多摩川)を観光資源として活かし、カヌー事業や他団体との連携事業を通じ、区内外に魅力をPRする他、来訪(体験)機会の提供や、地域の活性化、区の認知度向上と、水辺に親しむ体験機会の充実を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和4年度実績】

- 実施内容：カヌー&SUP体験
- ・実施月：5月から9月
- ・実施回数：計50回
- ・参加人数：計209人(シーカヤックスクール65人、シーカヤックツーリング16人、親子カヌー教室84人、SUP体験44人)

くりらぼ多摩川運営事業

令和5年度予算額： 2,119千円 (補) 2,119千円

令和4年度決算額： 2,819千円 (補) 2,819千円

【事業概要】

魅力ある「モノづくりのまちづくり」を推進する拠点として公・民・学が協同してモノづくり体験や地域イベントへの出展などを行い、モノづくりへの興味喚起・観光振興につなげます。

【対象者】

区内外一般

【令和4年度実績】

- オープンらぼ：171日間、利用者数2,204人
- 町工BAR：実施回数2回、参加人数：計59人
- SCRAP#自由研究：参加人数：144人
- 小学校授業協力：小池小学校、矢口小学校、相生小学校

おおたオープンファクトリー

令和5年度予算額： 3,550千円 (補) 3,550千円

令和4年度決算額： 2,604千円 (補) 2,604千円

【事業概要】

大田区が誇る地域資源であるモノづくりをテーマに、一般の方が工場を訪れ職人と直接話したり、モノづくり体験企画などを実施したりすることにより、町工場・モノづくりの魅力を発信し、区内外からの来訪者誘致及び地域の活性化につなげ、産業観光及び産業振興を推進する取組とします。

【対象者】

区内製造業、区内外一般

【令和4年度実績】

- 工場オープン・体験プログラム
 - ・実施日：11月26日(土)
 - ・エリア：新田丸エリア、本羽田エリア、城南島エリア
 - ・参加工場数：49社
 - ・来場者数：約3,100人
- 特設Webサイト公開(集計期間11月1日～11月30日)
 - ・ユーザー数：4,510
 - ・ページビュー数：23,308

区内の回遊性向上促進事業

令和5年度予算額(新規)： 2,611千円 (補) 2,611千円

令和4年度決算額： 751千円 (補) 751千円

【事業概要】

- ・観光まちづくりを担う人材の育成と回遊性向上に向けたイベントの実施により、大田の魅力PRと商業振興を同時に推進し地域の更なる活性化を図ります。
- ・観光まちづくりの担い手や区民・事業者が区の魅力を再認識し、シビックプライドを醸成でき

るよう事業を通じて働きかけます。

【対象者】

区内外一般・事業者

【令和4年度実績】

- 大田の隠れた観光資源である「人工島」に着目した「大田区島めぐりツアー」実施。
 - ・マスコミ報道：NHK ニュース 2 回、東京新聞・日経新聞・都政新報・日経産業新聞で特集記事
 - ・応募者数：定員 25 人に対し 183 人
- コロナ感染予防のため参加者を複数のグループに分散させながら、付加価値をつけたまち歩きガイドツアーを実施
 - ・銭湯入浴券・桜スイーツ付きの「おおたの桜マラニックツアー」：申込人数 15 人
※当日荒天のため中止
 - ・馬込文士村大桜まつり開催に合わせてスイーツ付きの「大森・馬込さんぽツアー」開催
参加人数 14 人
- 「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー」を実施 3/18（土）～4/10（月）
 - ・大田観光協会 HP で募集&作品公開：写真応募件数 510 件
- 地域団体からの相談、打合せ（大田・品川まちめぐりガイドの会。全 6 回）
- 令和 4 年 3 月下旬に開催した協会主催「桜ツアー」の中でガイド活動を他団体とも連携し実施
- 六郷フェスタ（2/19）池上梅まつり（2/26）などの区内イベントで、観光パンフの配布及び会場周辺案内を行い大田区の地域 PR を実施



大田区島めぐりツアー



桜フォトギャラリー応募作品

大田観光協会ホームページ管理運営
令和 5 年度予算額： 14,647 千円 （補） 14,647 千円
令和 4 年度決算額： 11,912 千円 （補） 11,912 千円

【事業概要】

- ・インターネットを活用し地域の見どころを区民や観光客たちに対してニーズに応じた PR を行ない、観光スポットをはじめ区内の回遊性を高め、街中に賑わいを創出させます。
- ・区内外問わず、区民・来訪者が大田区を回遊・訪れるきっかけ作りとして大田区の魅力発信となるような話題を提供します。

【令和 4 年度実績】

- Web サイト
 - ・大田区観光公式サイトとの統合

○SNS

- ・Instagram フォトコンテストの実施

投稿数：204 件

「大田区学」
令和5年度予算額(新規)： 1,698 千円 (補) 1,698 千円
令和4年度決算額 : -

【事業概要】

- ・大田区に関する様々な事柄を収集・整理し問題形式にしたものを「大田区学」として発信することで区の魅力の再発見・再認識に繋げていきます。
- ・また、今後検定化して、区内外の多くの方に受験してもらうことで区民にはシビックプライドの醸成を図り、区外からは大田区ファンの獲得を図ります。

【対象者】

区内外一般

観光パンフレット等の発行
令和5年度予算額： 5,691 千円 (補) 5,691 千円
令和4年度決算額： 6,127 千円 (補) 6,127 千円

【事業概要】

- ・大田区来訪者への大田区の観光情報の提供と、大田区在住者に対するシビックプライドを醸成する発行物を作成し、効果的に配布します。
- ・テーマ別に深掘りした大田の特性を発信することで、様々な角度で大田の観光の魅力を伝えると共に、街へ来訪するきっかけをつくり、区内外からの誘客に繋げ、産業振興に資するものとします。また、旧観光課が制作していた「大田区観光ガイド」の移管を受け、協会ならではの視点や取材力を生かしたパンフレットを制作し、魅力発信の強化に努めます。

【対象者】

区内外一般

【令和4年度実績】

○「あそびつくせ！大田区」

6 ページ (Z 折)、発行部数：いずれも A4 版 10,000 部・縮小版 5,000 部

- ・第3号：7月発行、エリアテーマ：HANEDA と羽田、
- ・第4号：9月発行、エリアテーマ：六郷下町探訪、
- ・第5号：1月発行、エリアテーマ：レトロで NEO な蒲田、
- ・第6号：3月発行、エリアテーマ：春を感じる、洗足池さんぽ

○大田区観光ガイドのリニューアル いずれも3月発行、発行部数：各 10,000 部

- ・「おおた銭湯&入浴施設マップ」 A2 クロス 8 頁折クロス巻三折
- ・「大田区でみつけたご褒美スイーツ&愛されパン」変形 (210 mm×99mm) 28 ページ
- ・「大田区フォト&ロケーションスポット」変形 (210 mm×99mm) 28 ページ

○「おおたの桜を楽しもう 2023」パンフレット：3月発行、A2 四折、発行部数：10,000 部

○「大田区イラストマップ」の増刷：9月納品、A4 蛇腹折、発行部数：10,000 部

- 「蒲田今昔マップ」の増刷：A3 二折、発行部数：8月 1,000 部、10月 3,000 部、3月 10,000 部
- 「東海道エリアガイド」の修正&増刷、3月納品、A3 三折、発行部数：10,000 部
- 「大田区再発見マップ～田園調布、馬込、大森・海上公園、下丸子・武蔵新田～」
いずれも 3月納品、A4 版、発行部数：各 3,000 部

大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運營業務

令和 5 年度予算額：	3,663 千円	(委) 3,663 千円
令和 4 年度決算額：	3,663 千円	(委) 3,663 千円

【事業概要】

- ・来訪者等へ適切な大田区の観光・産業情報の説明や案内を行います。
- ・来訪者の興味喚起を促すような書籍、パンフレット等の配架及び展示を設置します。

【対象者】

区内外一般

【令和 4 年度実績】

- 年間訪問者数：4,542 人
- 年間電話件数：98 件

品川区・大田区広域連携事業

令和 5 年度予算額：	550 千円	(委) 550 千円
令和 4 年度決算額：	550 千円	(委) 550 千円

【事業概要】

- ・品川区、大田区が共有する観光資源等を活用した地域 PR 事業を実施して、近隣諸都市から区への誘客、にぎわいの創出を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和 4 年度実績】

- 実施内容：大田区長原・洗足池エリア～品川区旗の台・荏原町エリア間で合言葉を探しながら商店街を回遊。完走者には記念品（はねびよんオリジナルノート）を配布。また、アンケートを実施。
- ・合言葉探しで商店街を回遊する仕掛けを盛り込み、協力店舗と観光スポットを紹介したマップを作成し配布（両区合計 15,000 部）。
- ・エリア：大田区 長原商店街、洗足池商店街
品川区 旗の台中央商店街等
- ・期間：2月 18 日～3月 12 日
- ・参加記念品配付数：1,001 部
- ・アンケート回収数：878 名分

第8 参考資料

令和5年度 大田区産業経済部予算

歳出

(単位：千円)

目 名	令和5年度当初	令和4年度当初	増△減
産業経済総務費 (時間外勤務手当のみ)	30,944	31,417	△ 473
産業振興費	4,552,536	3,588,851	963,685
産業施設費	1,527,197	1,560,777	△ 33,580
観光振興費 (※)	—	134,928	—
計	6,110,677	5,315,973	929,632

※観光振興費は令和5年度から産業振興費に組み替え

歳入

(単位：千円)

款 項	令和5年度当初	令和4年度当初	増△減
使用料及び手数料 使用料	357,609	467,469	△ 109,860
国庫支出金 国庫補助金	19,250	22,406	△ 3,156
都支出金 都補助金	275,705	263,225	12,480
財産収入 財産運用収入	958,645	410,810	547,835
寄附金 寄附金	0	40	△ 40
諸収入 特別区預金利子	1	2	△ 1
受託事業収入	234,823	184,500	50,323
雑入	134,251	122,279	11,972
計	1,980,284	1,470,731	509,553

令和5年度 公益財団法人大田区産業振興協会予算

1 区補助金分

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増△減
大田区産業振興協会に対する補助金	668,687	678,034	△ 9,347
運営費補助	302,351	300,153	2,198
事業費補助	366,336	377,881	△ 11,545
大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業	7,065	9,381	△ 2,316
大田区産業振興普及事業	529	424	105
産業情報誌の発行	2,389	4,701	△ 2,312
産業情報受発信事業	4,147	4,256	△ 109
区内中小企業の経営支援に関する事業	63,690	62,967	723
中小企業情報化支援	3,112	2,844	268
ビジネスサポートサービス	11,980	13,739	△ 1,759
繁盛店創出事業	23,717	18,456	5,261
創業者支援事業	20,566	19,901	665
工場表彰制度	3,985	3,580	405
商店（飲食店）表彰制度	165	1,913	△ 1,748
大田区優秀技術者表彰事業	0	2,294	△ 2,294
大田のお土産100選表彰事業	165	240	△ 75
区内中小企業の取引拡大支援に関する事業	145,134	161,277	△ 16,143
受・発注相談	31,607	45,956	△ 14,349
海外取引相談事業	18,433	17,258	1,175
大田区加工技術展示商談会	13,784	12,825	959
国内見本市への出展支援	16,224	17,249	△ 1,025
海外見本市への出展支援	9,643	9,851	△ 208
自主企画展示会（おおた商い・観光展）	2,383	8,013	△ 5,630
自主企画展示会（おおた工業フェア）	17,275	15,919	1,356
商い・サービス産業取引相談	4,684	7,742	△ 3,058
羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	31,101	26,464	4,637
区内中小企業の人材育成・確保の支援に関する事業	7,918	6,232	1,686
おしごとナビ大田区	183	49	134
中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	899	889	10
若者と中小企業とのマッチング事業	2,262	1,963	299
内職あっせん・相談事業	4,574	3,331	1,243
区内中小企業の技術開発支援に関する事業	137,429	133,407	4,022
新製品・新技術開発支援事業	76,473	76,546	△ 73
次世代産業創造・産業クラスター形成事業	60,956	56,861	4,095
中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業費＜共済会＞	5,432	4,992	440
運営費	5,432	4,992	440
調整額(収益事業収入調整)	△ 332	△ 375	43

2 区からの委託事業等

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増△減
産業プラザ施設維持の管理運営	53,267	61,979	△ 8,712

*「産業プラザ展示ホール等の管理運営」は利用料金制のため、区からの委託料はない

令和5年度 一般社団法人大田観光協会予算

1 区補助金分

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増△減
大田観光協会に対する補助金	59,243	51,275	7,968
事業費補助	32,466	28,927	3,539
おおた商い・観光展後継事業(アキナイ・クロス)との連携(旧おおた商い観光展)	700	600	100
区内の回遊性向上促進事業	2,611	0	2,611
大田の魅力PR事業	0	670	△ 670
水辺の賑わい事業	1,450	1,450	0
くりらぼ多摩川運営事業	2,119	2,826	△ 707
おおたオープンファクトリー	3,550	3,550	0
観光まちづくり事業	0	585	△ 585
大田観光協会ホームページ管理運営	14,647	12,915	1,732
観光パンフレット等の発行	5,691	6,331	△ 640
大田区学	1,698	0	1,698
運営費補助	4,522	4,000	522
人件費補助	18,000	15,998	2,002
区職員事業者負担分	4,255	2,350	1,905

2 区からの委託事業等

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	増△減
大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運営業務	3,663	3,663	0
品川区・大田区広域連携事業	550	550	0

事業開始年度一覧（産業振興課、公益財団法人大田区産業振興協会、一般社団法人大田観光協会）

事業名	開始年度	備考
野菜と花の品評会	昭和23年	
農業振興連絡協議会関連事業(農業見学会)	昭和28年	
産業団体実地研修会助成	昭和33年	平成22年度から 工業系団体：「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業系団体：「商店街活性化推進事業」に統合
産業情報誌「テクノプラザ」の発行	昭和38年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付以外)	昭和44年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付)	昭和46年	平成25年度終了
内職あっせん・相談事業	昭和46年	
受・発注相談	昭和47年	平成元年から情報交換会開始 平成8年度から産業情報サービス相談開始
工業・小売業景気動向調査	昭和47年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業勤労者生活資金融資あっせん制度	昭和49年	平成25年度終了
商工資料の作成	昭和50年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	昭和51年	
区民農園	昭和51年	
中小企業倒産防止共済掛金助成	昭和53年	平成29年6月終了
商店街振興組合等推進事業	昭和56年	平成29年度から組合青年部設立費補助及び組合青年部活動費補助を追加
商店街活性化推進事業	昭和59年	平成27年度から：事業構成及び事業内容を改定 平成29年度：大田区商店街PR動画コンテスト（平成29年度終了） 平成30年度：商店街エリアサポーター事業開始（平成30年度終了） 令和元年度：商店街・個店グループモデル事業開始（令和元年度終了） 令和2年度：商店街ステップアップ応援事業開始 令和3年度：商店街戦略的PR事業開始
公衆浴場施設改善助成	昭和59年	
建築工事あっせん相談事業	昭和59年	
大田区勤労者共済会報の発行等(運営費)	昭和60年	
福利厚生事業	昭和60年	
給付事業	昭和60年	
中小企業者に対する勤労者福祉事業	昭和60年	

事業名	開始年度	備考
商店街装飾灯整備助成(設置補助)	昭和60年	
公衆浴場事業助成	昭和63年	
新製品・新技術コンクール	平成元年	
国内見本市出展支援	平成元年	
商店街会館建設改築助成	平成2年	令和3年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に統合
外国人技術研修受入団体助成	平成3年	令和3年度終了
海外取引相談(アジアネットワーク展開事業)	平成4年	平成19年度からアジアネットワーク展開事業を開始
商店街装飾灯整備助成(維持管理費補助)	平成5年	
農業振興連絡協議会関連事業(農業振興連絡協議会)	平成5年	
海外見本市出展支援	平成6年	
下丸子テンポラリー工場	平成6年 開設	
工場表彰制度(優工場)	平成7年	
マシンツールフェア	平成7年	平成22年度終了
総合事業案内	平成7年	
産業プラザ維持管理	平成7年	
おおた工業フェア	平成7年	令和4年度「Meet New Solution in OTA～NEXT おおた工業フェア」に名称変更し、令和4年度で終了
大田区産業情報冊子	平成7年	
中小企業都市連絡協議会	平成8年	平成21年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合。令和3年度終了
産業のまちネットワーク推進協議会	平成8年	平成22年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合
産業団体名簿の作成	平成8年	令和元年度終了
おしごとナビ大田区(旧:求人企業ガイド)	平成8年	平成11年度「おしごとナビ大田区」開設
本羽田二丁目工場アパート	平成9年 2月開設	
産学公交流推進事業	平成9年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
産業団体経営革新支援事業	平成10年	平成22年度から 工業系団体:「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業・サービス系団体:事業名を変更し継続(旧事業名:産業団体経営・技術指導講習会等補助) 平成28年度から:対象を産業団体等とし、外国人対応事業、平成29年度にPR対応事業を補助対象として追加 令和2年度終了

事業名	開始年度	備考
公衆浴場バリアフリー化促進事業	平成11年	平成21年度から「公衆浴場施設改善助成」に統合
大型店対策	平成12年	
本羽田二丁目第2工場アパート(テクノWING)	平成12年 5月開設	住宅棟は同年9月
新製品・新技術開発支援事業	平成13年	都補助事業として平成8年から開始
ビジネスサポートサービス	平成13年	
中小企業情報化支援	平成13年	
区内産業のIT活用支援事業	平成13年	平成20年から財団事業「情報化支援事業」に統合
大田区工業PR事業	平成13年	製造業ものづくりマップ「輝け！大田のまち工場」（平成14年2月～）
工業地域・準工業地域における集団住宅建設の開発指導	平成14年	
子ども起業家育成セミナー	平成14年	平成13年度まで商店セミナー・発明クラブは平成17年度から開始
研究開発マッチング事業	平成15年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
新・元気を出せ！商店街事業	平成15年	都補助事業として平成3年から開始 令和元年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に名称変更
創業支援施設(BICあさひ)	平成15年 5月開設	令和3年3月使用終了
中小企業知的財産戦略支援	平成16年	平成14年度から特許取得支援開始 平成28年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街再生支援事業	平成16年	平成27年度から「商店街コーディネーター派遣事業」に名称変更
大田ブランド発信事業	平成17年	平成20年度から「おおたモノづくりブランド発信事業」（補助金）開始 平成29年度終了
新事業展開グループ活動促進	平成18年	
高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業	平成18年	平成20年度までは国の管理法人事業
若者と中小企業とのマッチング事業	平成18年	平成20年度から名称変更
新産業創造支援施設	平成18年 4月開設	
産学連携施設	平成18年 8月開設	令和3年5月使用終了
大田区産業振興基本戦略検討委員会	平成19年	平成20年度終了
戦略的基盤技術高度化支援事業	平成19年	平成21年度までの3か年
次世代経営者育成支援	平成19年	平成20年度から大田工連に移行
環境配慮型経営への取組み支援	平成19年	平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合

事業名	開始年度	備考
中小企業融資あっせん制度(利子補給)	平成19年	平成19年9月に信用保証料補助終了
区内立地・操業環境整備事業	平成20年	平成26年度から「ものづくり企業立地継続補助金」実施 平成27年度から「ファブレス企業等立地助成事業」「企業立地サポート業務」実施
大田区加工技術展示商談会	平成20年	
おおた商い・観光展	平成20年	令和5年度から「アキナイ・クロス事業」に名称変更
観光情報の提供	平成20年	平成25年度から(一社)大田観光協会への支援へ名称変更
おおたの観光魅力創出事業	平成20年	平成25年度から(一社)大田観光協会への支援へ名称変更
(一社)大田観光協会への支援	平成20年	【大田観光協会に対する補助金交付に関する要綱】 平成25年度から名称変更(「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合)
品川・大田広域観光まちづくりの支援	平成20年	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱 平成28年度で終了
大田観光協会ホームページ管理運営	平成20年	令和4年度から区公式観光サイトと統合
事業承継・モノづくり技術継承事業	平成20年	平成23年度から「大田モノづくりライブ러리」実施 平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街コミュニティ活性化事業	平成20年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業への移行により、平成30年度から維持管理費補助、利用促進費補助を廃止
商店街景観整備事業	平成20年	令和3年度終了
大森南四丁目工場アパート(テクノFRONT 森ヶ崎)	平成20年 5月開設	令和5年度から民間事業者(NPT. RIO共同企業体)による運営を開始
海外交流事業・工業団体海外交流支援事業	平成20年	令和3年度終了
大田区ものづくり優秀技能者(大田の工匠100人)表彰	平成20年	平成25年度から「大田の工匠Next Generation」開始 平成27年度から(公財)大田区産業振興協会へ事務移管 平成29年度から「大田の工匠 技術・技能承継」開始
次世代経営者育成セミナー	平成20年	産業振興協会事業「次世代経営者育成支援」(平成19年～)から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
産業のまちスクール	平成20年	産業振興協会事業「産業のまちスクール」(平成9年～)から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合

事業名	開始年度	備考
ロボット教室	平成20年	産業振興協会事業「ものづくり体験事業」（平成14年～）から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
工業用地再開発支援事業	平成20年	
明日のものづくり懇談会	平成21年	産業振興対策委員会（昭和25～平成12年）から移行 明日のものづくりひろば（平成13年～平成20年）：平成21年度終了
繁盛店創出事業	平成21年	平成23年度から「あきない経営事例研究会」、商業情報誌「あきnow」実施
創業者支援事業	平成21年	
観光案内サインの整備	平成21年	平成21年度にて整備計画を策定。22年度からサインを設置
大田区観光大使	平成21年	平成27年度から「国際都市おおた大使」として国際都市・多文化共生推進課に移管
観光紹介用パンフレットの作成	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	産業振興協会事業「情報コーナーの運営」（平成8年～）から移行 平成26年度から産業振興課に移管
商店（飲食店）表彰制度（OTA!いちおしグルメ）	平成22年	平成26年度：表彰事業終了 平成27年度：過去の表彰店舗の総合版ガイドを作成 平成28年度から：表彰事業再開
次世代ものづくり人材育成事業	平成22年	「産業団体実地研修会助成」「産業団体経営・技術指導講習会等補助（旧事業名）」「次世代経営者育成セミナー」「産業のまちスクール」「ロボット教室」を事業統合し新規事業として実施
ものづくり集積都市間連携事業	平成22年	「中小企業都市連絡協議会」「産業のまちネットワーク推進協議会」を事業統合。新規事業として「大手中堅企業懇談会」を実施。平成25年度川崎市との産業連携に関する基本協定を締結。平成25年度文京区との医療関連産業の連携に関する覚書を締結。令和3年度中小企業都市連絡協議会終了。
羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	平成22年	羽田空港第3ターミナル国際線到着ロビー
健康増進型浴場改築等助成（公衆浴場施設改善助成の一部）	平成23年	
小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給制度	平成23年	
観光まちづくり助成金	平成23年	観光振興に取り組む区民活動団体に対する助成、平成24年度で終了
訪日外国人旅行者受入環境整備事業	平成23年	
大田区まちかど観光案内所事業	平成23年	令和4年度、大田区ウェルカムショップと統合

事業名	開始年度	備考
六郷用水せせらぎウォーキング	平成23年	六郷用水400周年、六郷水門80周年 平成23年度限り
羽田空港国際化1周年事業「いらっしやいOTA」	平成23年	平成23年度限り
梅ちゃん先生観光PR事業	平成23年	平成24年度で終了
観光展示会出展事業	平成23年	平成25年度からインバウンド誘致事業へ統合
海外等へ向けての観光情報の提供	平成23年	
観光パンフレット等の発行	平成23年	令和4年度から順次区から（一社）大田観光協会へ移管
ものづくり戦略人材育成事業	平成24年	平成25年度から「大田の工匠による技術指導・相談事業」実施
東糀谷六丁目工場アパート（OTAテクノCORE）	平成24年 6月開設	
医工連携支援	平成24年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
大田区観光推進協議会の運営	平成24年	【大田区観光推進連絡協議会に対する補助金交付要綱】
大田区観光PR特使	平成24年	【大田区観光PR特使設置要綱】
おおたオープンファクトリー	平成24年	
農業機械技術研究会	平成25年	平成26年度：「農工連携セミナー」から名称変更。 平成26年度から「受・発注相談」に統合
フードビジネス支援事業	平成25年	平成26年度：「フード商談会」から名称変更し「受・発注相談」に統合 平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
大田区優秀技術者表彰事業	平成25年	平成27年度から産業振興協会へ事務移管
観光まちづくり推進支援事業	平成25年	事業者や団体による観光まちづくりに関する取り組みに対する助成、平成26年度で終了
大田区産業観光促進事業	平成25年	【大田区産業観光資源整備補助金交付要綱】 平成29年度から、大田の観光にぎわい創出事業補助金に統合
インバウンド誘致事業	平成25年	
MICE誘致事業	平成25年	
映画・ドラマを活かした観光PR事業	平成25年	
京急線品川駅構内大田区観光情報コーナーの運営	平成25年	平成29年度で終了
蒲田映画祭	平成25年	令和3年度廃止

事業名	開始年度	備考
くりらぼ多摩川運営事業	平成25年	
創業支援事業計画の認定	平成26年	
経営革新等支援業務の認定	平成26年	
羽田空港跡地の産業交流施設整備	平成26年	
国家戦略特区制度(東京圏)	平成26年	
ものづくり人材育成事業	平成26年	「次世代ものづくり人材育成事業」「ものづくり戦略人材育成事業」を事業統合
女性・若手商人支援事業	平成26年	平成27年度から若手商人ネットワーク事業は区内商店街連携強化推進事業に移管。平成29年度に商店街女性・若手チャレンジ事業を廃止
商店街PR事業	平成26年	平成29年度に廃止
空き店舗対策事業	平成26年	平成27年度から(公財)大田区産業振興協会へ事務移管
買い物弱者支援事業	平成26年	平成27年度から新・元気を出せ!商店街事業に統合
産業基礎調査	平成26年	「工業・小売業景気動向調査」「商工資料の作成」を事業統合 平成26年度:新規事業として「商店街調査」「ものづくり産業等実態調査」を実施
中小企業融資あっせん制度「チャレンジ企業応援資金」	平成26年	
観光マーケティング調査	平成26年	平成29年度 第2回目実施
川崎市連携事業	平成26年	【大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定】 【大田区・川崎市観光まちづくり連携事業に係る協定書】
観光サポーター育成事業	平成26年	平成27年度で終了
水辺の賑わい事業	平成26年	
地方創生先行事業「大田区イノベーション創造サロン」の開設	平成27年	
モデル商店街事業	平成27年	平成29年度廃止
オリンピック・パラリンピック・アクションプログラム「文化交流・多言語習得でおもてなし事業」	平成27年	平成29年度廃止
商店街活性化テーマ別選択事業(商店街活性化推進事業の一部)	平成27年	平成29年度から商店街女性・若手チャレンジ事業、商店街PR事業、文化交流・多言語習得でおもてなし事業、モデル商店街事業を廃止・統合(令和2年度終了)
区内商店街連携強化推進事業	平成27年	商店街活性化推進事業の一部を移管大田区商店街連合会へ委託して実施
東京都の装飾灯LED化補助制度への上乗せ補助	平成27年	商店街装飾灯整備助成(設置補助)に追加(令和元年度終了)

事業名	開始年度	備考
商店街コーディネーター派遣事業	平成27年	平成28年度から「区内商店街連携強化推進事業」に統合 令和2年度から「商店街ステップアップ応援事業」に移行
耐震化促進支援事業(公衆浴場施設改善助成の一部)	平成27年	
大田区海外市場開拓支援調査研究員の設置	平成27年	平成28年度廃止
中小企業融資あっせん制度「開業資金(商店街空き店舗活用・ものづくり事業)」	平成27年	
地域課題解決型ビジネス支援	平成27年	
公衆無線LAN(Wi-Fi環境)整備事業	平成27年	令和3年度で運用終了
大田区公式観光サイトの運営	平成27年	令和4年度から(一社)大田観光協会HPと統合
大田区観光情報センターの運営	平成27年	
新創業融資資金利子補給制度	平成28年	
次世代産業創造事業	平成28年	「研究開発マッチング事業」「産学公交流推進事業」「医工連携支援」を統合 令和2年度から「次世代産業創造・産業クラスター形成事業」に統合
大田のお土産100選表彰事業	平成28年	
商業事業者相談員(あきない活性化コーディネーター)の設置	平成28年	平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
オーダーメイド型福祉用具製作事業	平成28年	
医工連携自治体協議会	平成28年	
区内大学等との連携講座	平成28年	
大田区観光PR動画制作	平成28年	平成29年度で終了
商店街お休み処認定制度(商店街コミュニティ活性化事業の一部)	平成29年	令和3年度終了
商店街お休み処活性化事業(商店街コミュニティ活性化事業の一部)	平成29年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業を創設。令和3年度終了
商い・サービス産業取引相談	平成29年	商業事業者相談員(あきない活性化コーディネーター)、フードビジネス支援事業を統合
障がい者用スポーツ用具の開発	平成29年	令和2年度終了
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田	平成29年	平成29年度、国際都市・多文化共生推進課から事務移管 令和3年度から「空の日に実施する羽田空港イベントとの連携事業」に名称変更
大田の観光にぎわい創出事業補助金	平成29年	令和3年度終了
大田の魅力PR事業	平成29年	令和5年度から「区内の回遊性向上促進事業」へ統合
産業クラスター形成事業	平成30年	令和2年度から「次世代産業創造事業」に統合

事業名	開始年度	備考
ものづくりベンチャー連携創出事業	平成30年	令和元年度から産業振興協会へ事務移管
生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定	平成30年	
大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用	平成30年	平成30年度、総務課から事務移管
事業承継の取組	平成31年	令和2年度から継業アドバイザー養成開始
商店街チャレンジ戦略支援事業	令和元年	「新・元気を出せ！商店街事業」から名称変更
インダストリアルパーク羽田大田区産業施設 (Techno Square Haneda) 開設	令和元年	
来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	令和元年	令和元年度限り
観光まちづくり事業	令和元年	令和5年度から「区内の回遊性向上促進事業」へ統合
次世代産業創造・産業クラスター形成事業	令和2年	「次世代産業創造事業」と「産業クラスター形成事業」を統合
商店街戦略的PR事業費補助金	令和2年	
池上駅大田区観光情報コーナー設置	令和2年	
羽田イノベーションシティ まち開き	令和2年	
HANEDA×PiO(ハネダピオ)の開設	令和2年	
スタートアップ×大田区企業ユナイト助成事業	令和3年	
南六郷創業支援施設(六郷BASE)	令和3年 10月開設	
事業承継資金利子補給制度	令和3年	
PiO PARK(ピオパーク)の開設	令和3年	
デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業	令和3年	
おおたプライド事業「大田区学」	令和3年	令和5年度から(一社)大田観光協会へ事務移管
大田区探訪「はねびよんさんぽ」	令和3年	令和5年度から大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用と統合
東京2020大会を契機とした地域活性化事業	令和3年	令和3年度限り
ビズビーチ コワーキングの運営	令和4年	令和4年度から大田区産業プラザ指定管理に含めて開始
PiOフロントの開設	令和4年	
プレミアム付デジタル商品券事業	令和5年	令和3、4年度、緊急経済対策として補正予算にて実施 令和5年度、区内経済循環創出、キャッシュレス決済定着を目的に当初予算計上
商店会装飾灯一斉点検事業	令和5年	
区内の回遊性向上促進事業	令和5年	

事業名	開始年度	備考
アキナイ・クロス事業	令和5年	旧おおた商い・観光展 後継事業
Meet New Solution in OTA	令和5年	旧おおた工業フェア 後継事業
羽田イノベーションシティ グランドオープン	令和5年	
大田区ウェルカムスポットへの支援	令和5年	「大田区ウェルカムショップ」「大田区まちかど観光案内所」統合



大田区産業プラザ施設概要

1 施設概要

所在地 大田区南蒲田一丁目20番20号

建物の概要 鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）／地下1階・地上6階建（一部9階建）

建物形態 東京都と大田区との合築。

旋盤等での切削加工に用いる工具・バイトをイメージした、先鋭的な外観。

敷地面積 9,877.72㎡（産業棟の延床面積 22,758.78㎡）

延床面積 26,823.79㎡（大田区の配分面積 14,704.17㎡）

設置目的 中小企業が目まぐるしく変化する内外の環境への確に対応できるよう、将来の需要や先端技術の動向を情報として提供するとともに、産業人が製品の展示や技術の紹介を相互にしあえる場（ステージ）を設定し、交流を通して新しいネットワークを形成できる広場（プラザ）を作り上げることを目的としている。

沿革

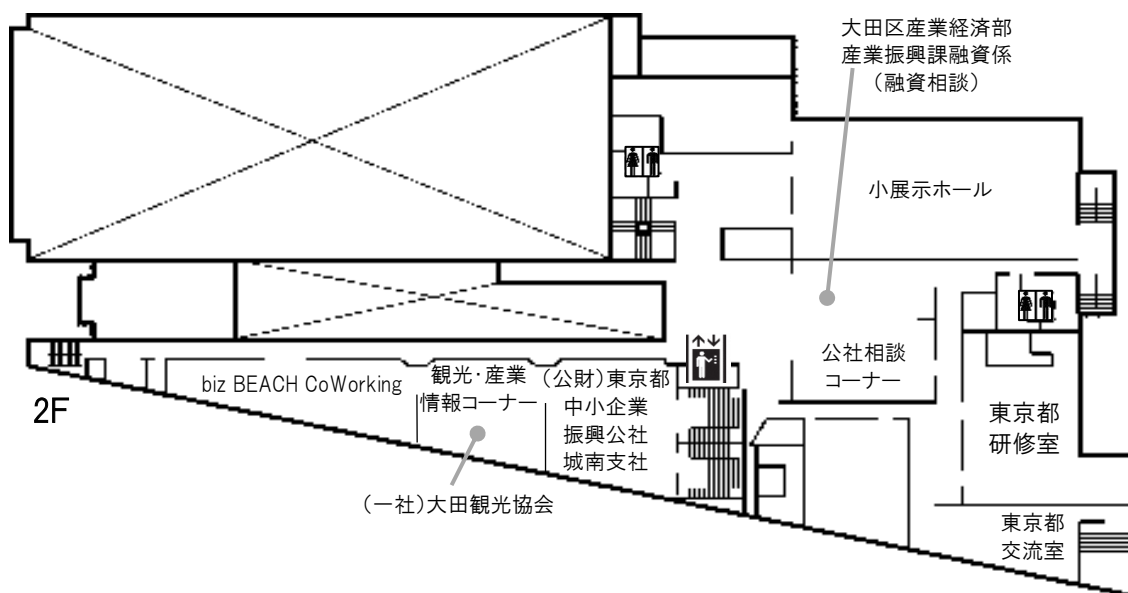
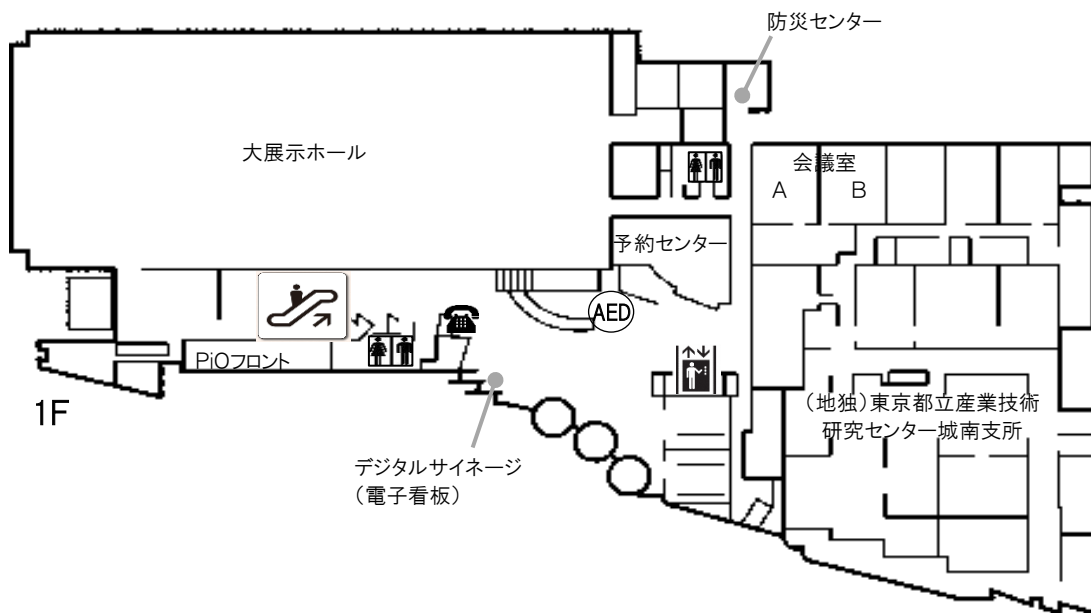
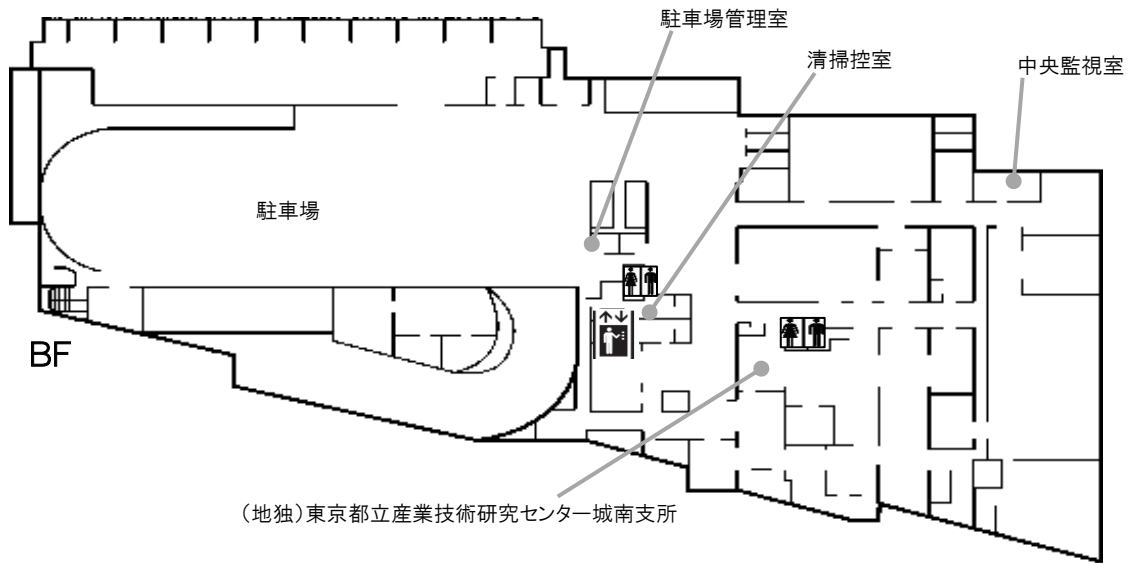
平成2年3月	産業プラザ建設基本計画書作成
平成4年3月	プロポーザル方式により産業プラザの設計確定
平成5年5月	東京都労働経済局・住宅局・大田区との間で建築協定締結
平成5年6月	着工
平成7年11月30日	竣工
平成8年2月1日	開館
2月6日	都区合同開所式 （1階ロビー正面玄関脇に、陶板画のレリーフ（*）を展示）
平成12年5月	公共建築賞優秀賞受賞

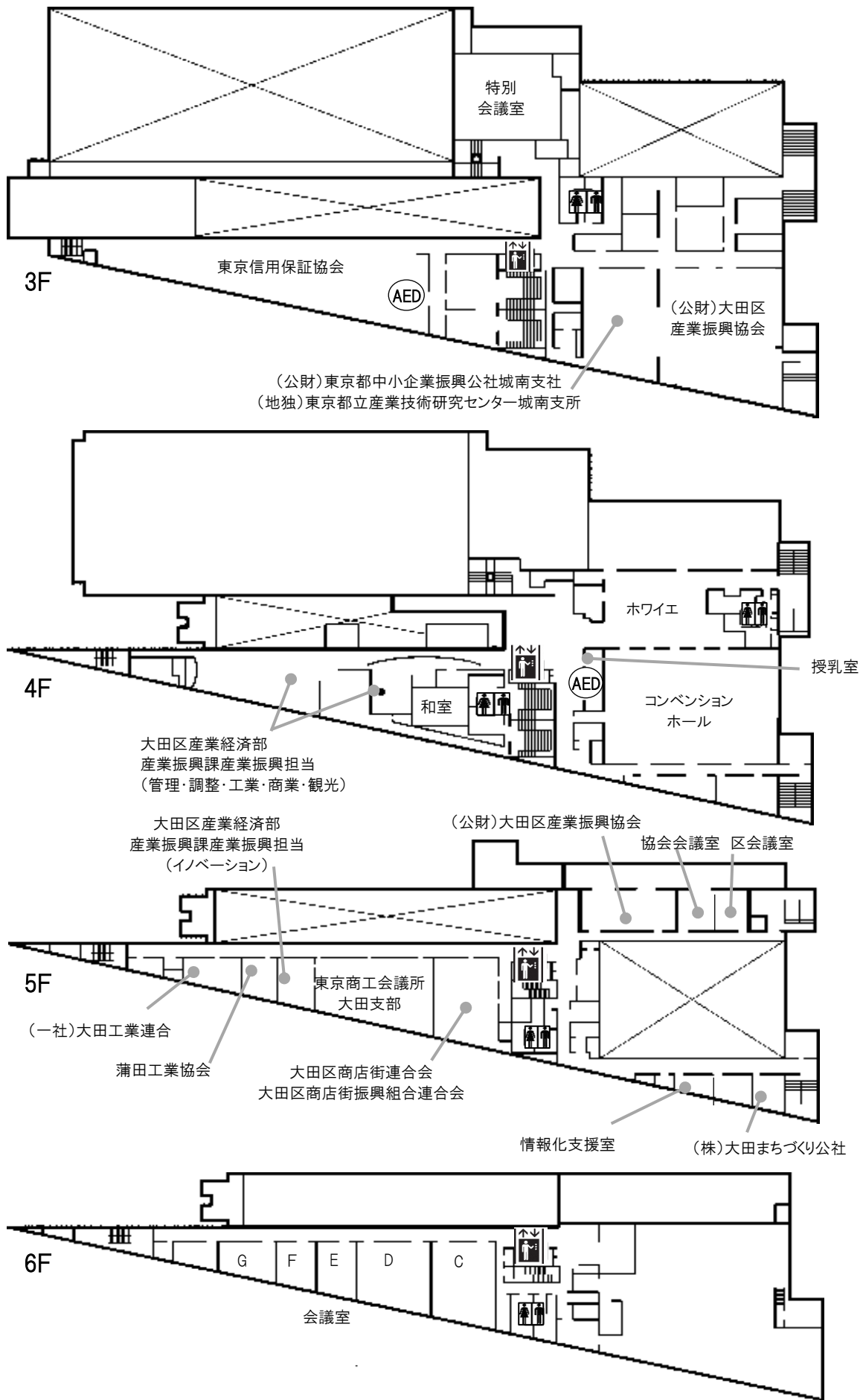
* レリーフについて	題名 「飛騰（ひとう）」
・大田区と交流事業を行っている北京市から、機械工業管理局(当時)を通して贈呈された。 ・中国陶板画の第一人者であった陳進海氏の設計、中国中央工芸美術学院の製作である。 ・中国で基礎をつくり、産業プラザ内で一週間かけて完成した。 ・「飛騰」とは、急速に上昇するという意味であり、画には車と龍が描かれ、産業発展をイメージしている。	

開館時間等

① 開館時間	午前8時～午後10時
② 休館日	12月29日～1月3日 及び 施設保守点検日（原則、月に1回）

2 産業プラザ館内案内図



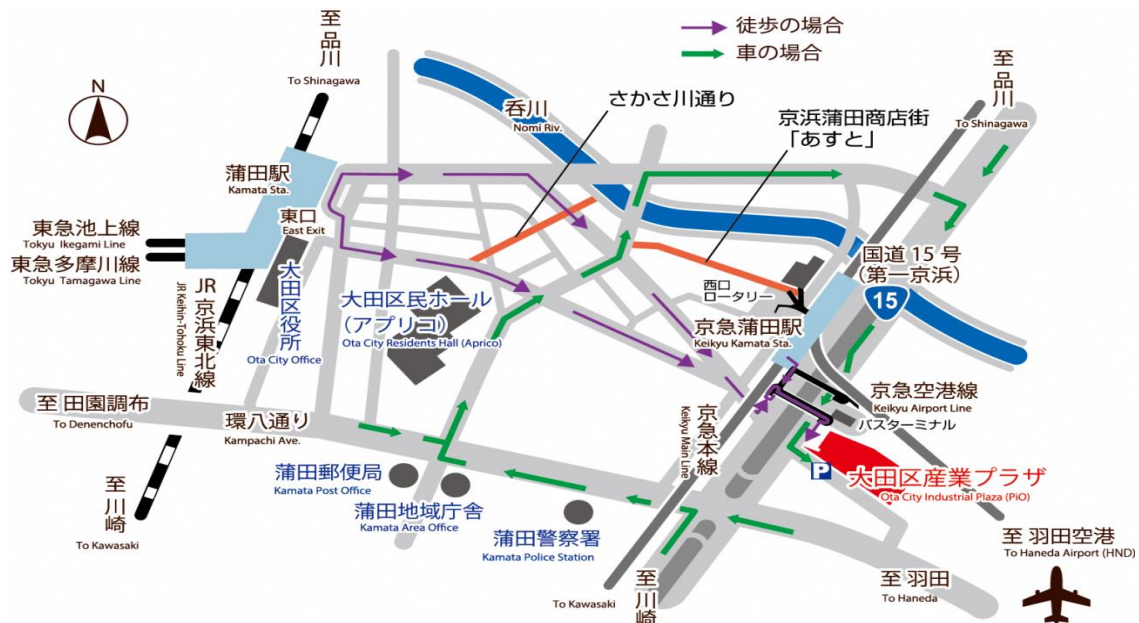


3 アクセス

<所在地>

〒144-0035

大田区南蒲田一丁目20番20号



<交通手段>

- ・京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
- ・JR京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分

<開館時間>

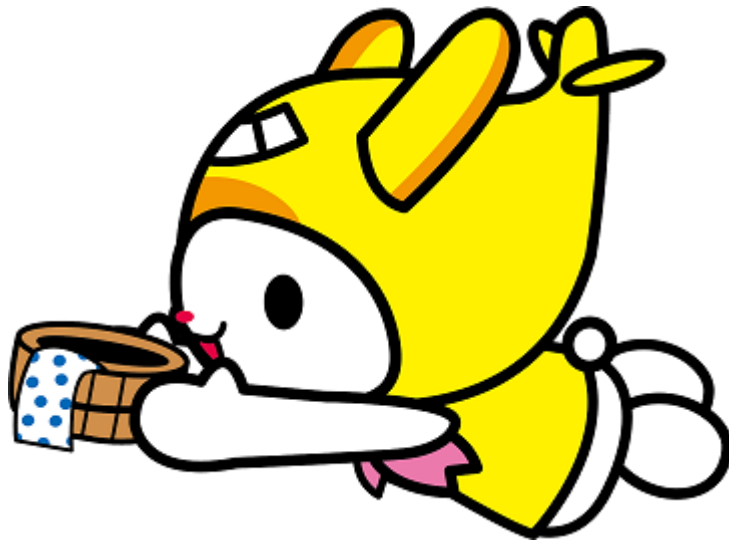
- ・8:00～22:00

<駐車場>

- ・利用時間 8:00～22:00
- ・利用料金 100円/30分(最初の30分無料)
- ・進入可能車両 車高3.2m×7.6m以内
- ・駐車可能車両 平置き50台(その他、荷さばきスペースあり)
区画により車高制限あり。2.3mまたは2.7m

<電話番号>

- ・P i O フロント 03-3733-0066
- ・産業プラザ予約センター 03-3733-6144



©大田区

はねびん

令和5年7月発行

View 2023-大田区産業経済部事業概要-

編集・発行 大田区産業経済部

〒144-0035

東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号

大田区産業プラザ PiO 4 階

電話 03(5744)1363

FAX 03(6424)8233